保 証 書(持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

無効

品　番	MR977si	
S/No.		
お買い上げ日	年　月　日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。	
保 証 期 間	対象部分 機器本体(電池等の消耗部品は除く) お買い上げの日から１年	
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 TEL(　　)
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

＜無料修理規定＞

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
   (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
   (ヘ) 本書のご提示がない場合
   (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

株式会社 ユピテル
〒108-0023　東京都港区芝浦4-12-33

6SS1190-A

MR977si

ミラー型GPS&レーダー探知機

MR977si

取扱説明書

12V車専用　ダウンロード対応

このたびは、弊社製品のレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、スピード取締り機の存在を前もってお知らせする受信機です。

- **2.2インチIPS液晶ディスプレイ**
- **サラウンドボイス**
- **レーダースコープⅡ**
  複数のターゲットを同時に表示。
- **リモコンでカンタン設定&楽々操作**
- **GPS27識別**
- **17バンド受信機能**
- **誤警報低減機能**
  ホンモノの警報だけ、的確にお知らせする「インテリジェントキャンセル」等、快適なドライビングをサポートします。
- **最適モード選択機能**
  ふだんの生活圏内のときや遠くへドライブするときなど、最適な設定モード選択がカンタンにできます。
- **GPS測位機能**
- **S-EXTRA/スーパーエクストラ感度☆☆☆☆☆**
- **iDSP**
  統合的デジタル信号処理技術(iデジタル)により、超高精度識別を実現。
- **レーダーアラーム機能**
- **自動制御機能**
  リラックスチャイム、フレックスディマー、お知らせボイス、オートクワイアット。
- **ity. ダウンロード機能 (SDカードダイレクト方式)**
  パソコンやFOMAでGPS登録データをダウンロード更新。
- **今すぐ地図表示サービス**
  QRコードを読み取り、携帯電話に周辺の地図を表示します。
- **ログ機能**
  走行データを記録し、パソコンで走行軌跡を表示させることができます。

⚠注意

この説明書をよくお読みのうえ、安全運転の良きパートナーとして正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

目　次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

●本機、電源コードについて

⚠警告

水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

表示された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用して拭かない…本機を傷めます。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

●電源コード接続時

⚠警告

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。

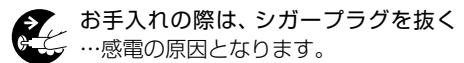
ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。

シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよく拭く…接触不良を起こして火災の原因となります。

シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

⚠注意

シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⃠ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

☛ この記号は、関連するページを示します。

●取り付けについて

⚠警告

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグ使用時に配線が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

⚠注意

取り付けは確実に行う…落ちたりして、本体や車輌側の破損および、ケガの原因となります。

突起部分などでケガをする恐れがありますので、取り付けや取り外しの際はご注意ください。

●使用について

⚠警告

運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。

医用電器機の近くでは使用しない…植え込み型心臓ペースメーカーや、その他の医用電器機に電波による影響を与える恐れがあります。

⚠注意

車から離れるときは、電源を切る…エンジンを止めても、シガーライターソケットに、常時電源が供給される車種がありますので、ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。

本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

使用上のご注意

■本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

■電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPS測位機能(☛ 24ページ)が働かない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

取付け(☛ 8ページ)に関する注意

- 本品の取り付けにより、サンバイザーが使用できない場合があります。
- 本機が純正ルームミラーにしっかりと装着されていることをご確認の上、走行してださい。
- 本品を装着しますと、純正ルームミラーの防眩機能は使用できなくなります。
- 本品は、純正ルームミラーとは視界の範囲が異なりますのでご注意ください。
- 本品は、純正ルームミラーに直接取り付けるため、振動により、ミラーが振れてしまうことや、ルームミラー自体が傾いてしまう場合があります。

液晶表示部

- 表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
- アイコン表示(☛16ページ)はGPS測位状況や各種設定状況により異なります。
- 表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。

シガープラグコードに関する注意

- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販の新しいヒューズ(1A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いて、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

レーダーアラーム機能(☛ 22ページ)に関する注意

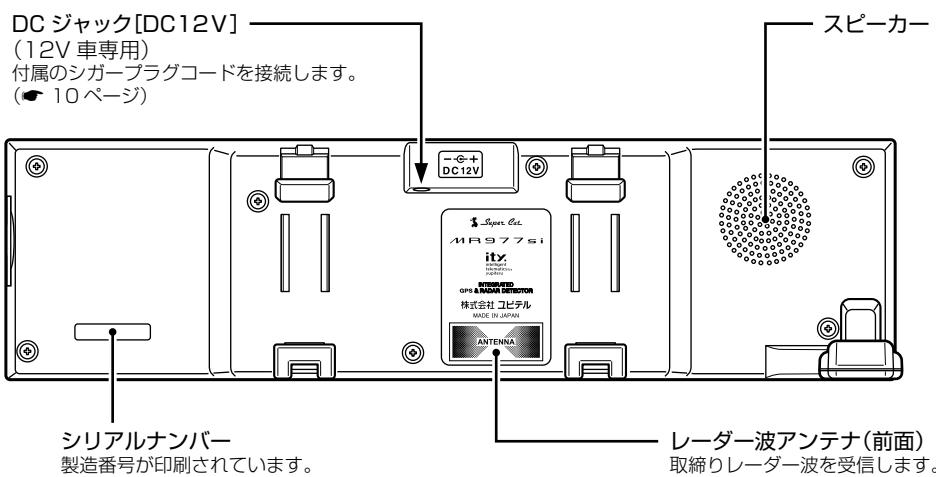
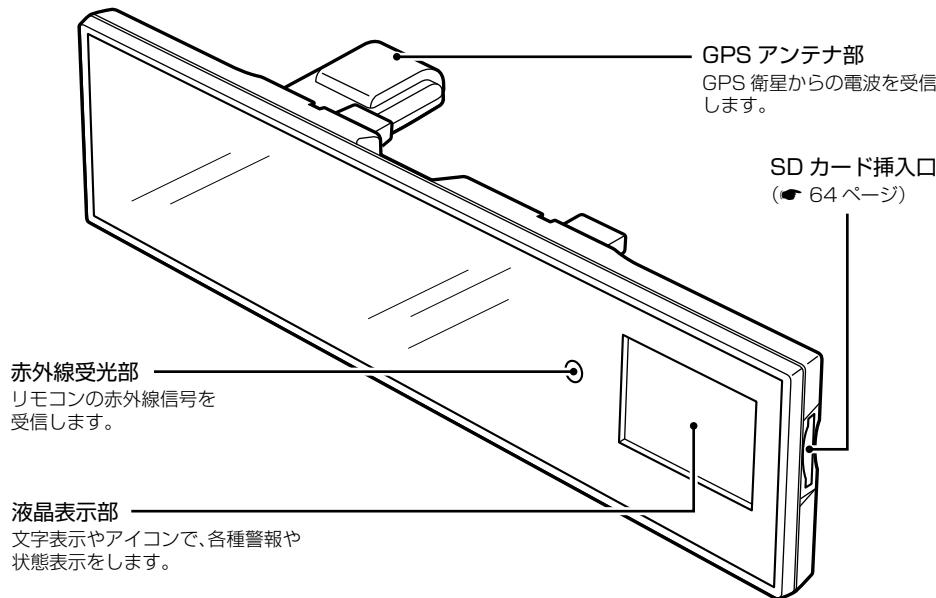
- 走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- 狙い撃ちの取締り機(ステルス型取締り機)は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。(☛ 23ページ)
- レーダー波を使用しない速度取締り(光電管式など)の場合、事前に検知することができませんので、あらかじめご了承ください。

GPS測位機能(☛ 24ページ)に関する注意

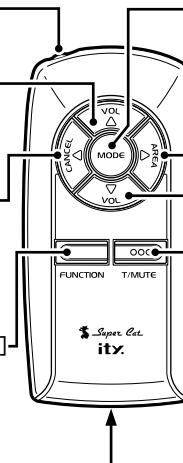
- 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- GPS衛星の受信状態により、距離や速度に誤差を生じる場合があります。
- 車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。
UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。

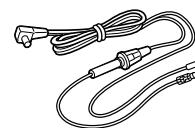
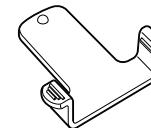
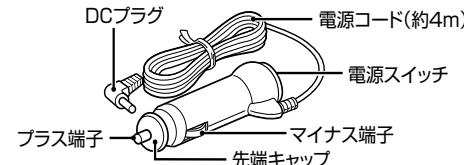
無線14バンド受信機能(☛ 32ページ)に関する注意

- カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本機は、受信した音声を聞くことができる交信音声受信機能(復調)を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。
現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなりますので、あらかじめご了承ください。
新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー6識別(☛ 34ページ)は、働きません。

各部の名称と働き

本 体

リモコン

赤外線発光部を本体の赤外線受光部に向けてリモコン操作してください。

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- 電源直結コード(約3m)
- リモコンホルダー
- リモコンホルダー用両面テープ
- コードクリップセット
- 取扱説明書・保証書

●電源スイッチ付シガープラグコード

取り付けかた

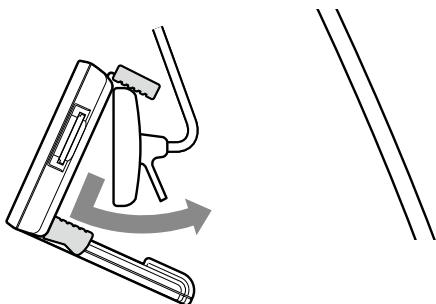
GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。

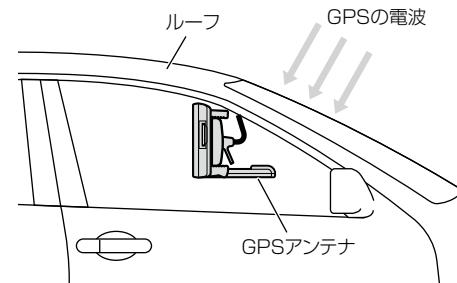
1 GPSアンテナを図のように動かす

2 本体をルームミラーに挟み込む

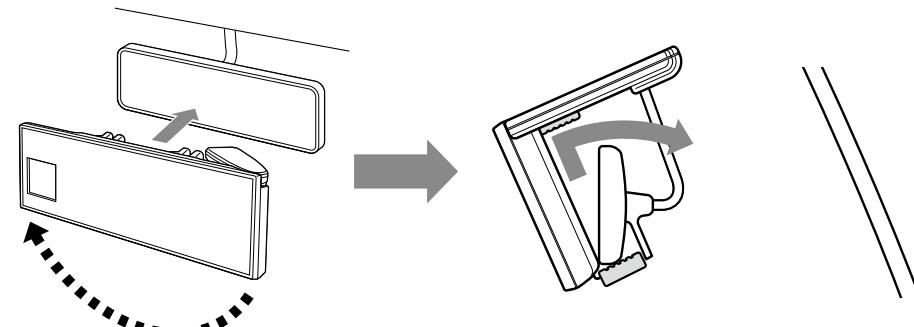
- 純正ルームミラーに強い重荷が加わらないよう、手で純正ルームミラーをしっかりと支えて取り付けてください。車体への取り付け強度が弱い一部の車種（軽自動車やフロントガラス接着型の車など）では、純正ルームミラーが破損する恐れがあります。

3 本体の取り付け角度を調整する

- ミラーの角度調整を行うときは、本品を持って行うとはずれてしまう場合がありますので、必ず純正ルームミラーを持って行ってください。

4 GPSアンテナの角度を、車輌の外からフロントガラスを通して見えるように調整する

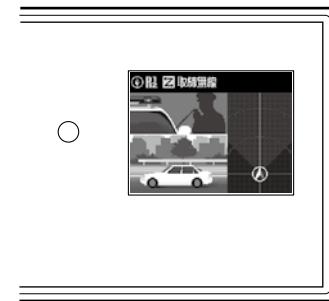
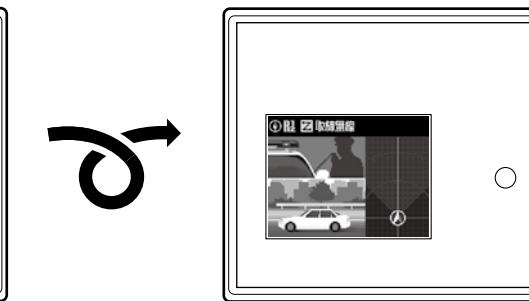
- GPSアンテナが、車輌のルーフ下に隠れていると、GPSの電波を受信できない場合があります。

上下反転取り付けについて

本機は、お好みに応じて、上下逆さま（反転）に取り付けることで、液晶画面の位置が変えられます。（左ハンドル車対応）

- 取り付けは、ルームミラーに強い荷重が加わらないように、ルームミラーをしっかりと支えて行ってください。車体への取り付け強度が弱い一部の車種（軽自動車やフロントガラス接着型の車など）では破損の原因となります。

上下反転して取り付けた場合には、画面反転（☛ 58 ページ）の設定により、表示画面を反転して使うことができます。

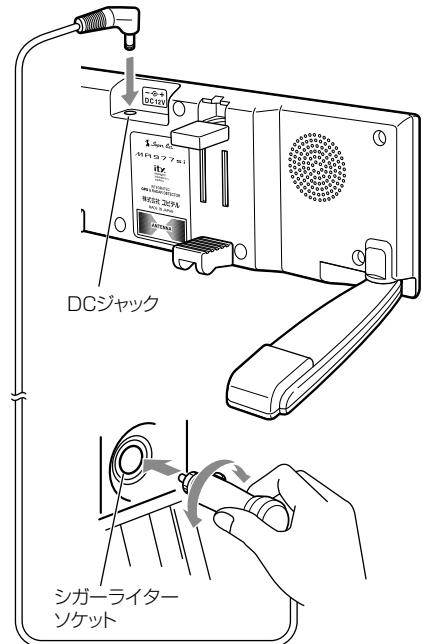
通常取り付けの場合

電源について

つづく

1 **付属の電源スイッチ付シガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む**

シガープラグは、2〜3回左右にひねりながら差し込みます。

- 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、付属の電源直結コードを使用してください。

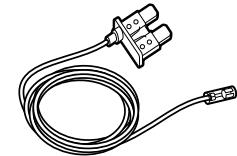
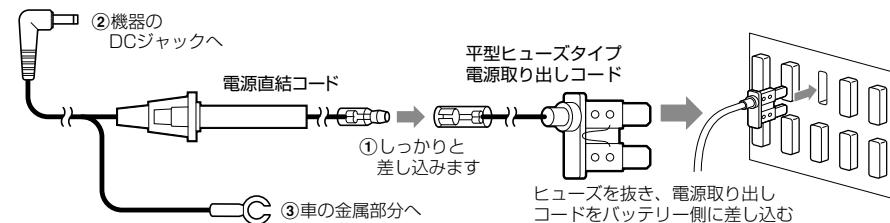
必ず本体を取り付けたあとで、シガープラグコードを接続してください。

電源直結コードの使いかた

シガーライターソケットを使わず、ヒューズボックスから電源をとることができます。
平型ヒューズタイプの電源取り出しコード(市販品)をお買い求めいただき、次のように接続してください。

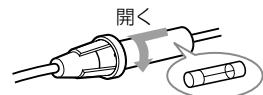
※平型ヒューズにはノーマルサイズとミニサイズがあります。あらかじめ、ヒューズボックス内のヒューズのサイズと容量をご確認のうえ、お買い求めください。

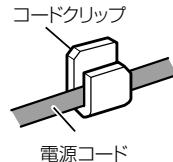
■平型ヒューズタイプ電源取り出しコード(市販品)

接続方法

- 作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- 平型ヒューズ取り付け時には、付属の取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。

必ず、エンジンキーのACC ON/OFF操作と連動してON/OFFする回路(カーラジオなど)のヒューズと差し替えてください。

ヒューズの交換

- 接続状態でエンジンをかけても、機器の電源が入らない場合は、接続コード類が外れていないことと、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないことを確認してください。(合わせて、平型ヒューズのヒューズが切れていないか確認してください)
- 図のようにヒューズホルダーを押しながら左に回して外し、元に戻すときは、押しつけながら右に回してください。

電源について

コードクリップの使いかた

付属のコードクリップセットで、シガープラグコードがきれいに配線できます。
コードクリップを両面テープで貼り付けます。

- 布などは避け、なるべく硬く、なめらかな場所を選び、接着面に触れないように貼り付けます。
- 貼る場所のチリや汚れをよく落としたあと、慎重に行ってください。

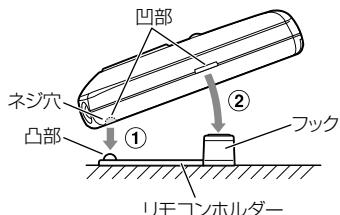
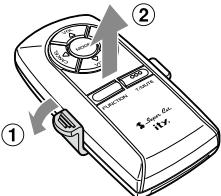
リモコンについて

リモコンの取り付け

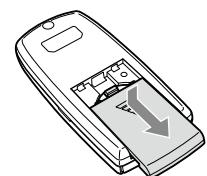
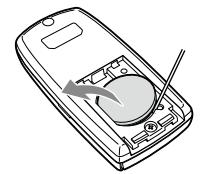
リモコンを、手に取りやすい決まった場所に両面テープで貼り付けておくこともできます。

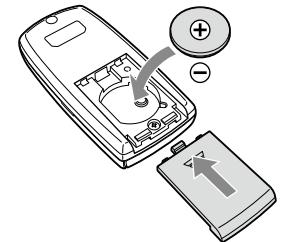
❶リモコン用ホルダーを、付属の両面テープで手に取りやすい場所に貼り付ける

- あらかじめ、貼る場所のホコリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。

❷リモコンを固定するときは、ホルダーの凸部にリモコンのネジ穴を合わせてから、『カチッ』と音がするまで押し込む

❸リモコンを取り出すときは、リモコン用ホルダーのフックを軽く広げながら、取り出す

赤外線発光部を本体の赤外線受光部に向けてリモコン操作してください。

リモコンの電池交換

❶電池カバーを開ける

❷古い電池を取り出す

❸新しい電池を入れ、電池カバーを閉じる

- 電池の向きに十分注意してください。

- リモコンにはボタン電池(CR2032)が内蔵されています。リモコン操作がしにくくなったら、電池寿命です。市販の新しいものと交換してください。
- 電池は、CR2032以外は使用しないでください。
- 寿命の目安としては、1日50回程度の使用で約1年間ですが、1年以内でも消耗することがあります。

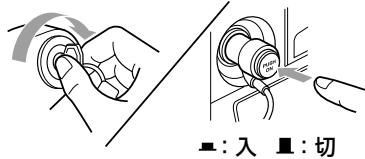
⚠警告

使用済みの電池は、火中に入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

基本的な使いかた

1 電源を入れる

車のエンジンを始動し、シガープラグの電源スイッチを押します。

『ピピッ』と音が鳴り、オープニング表示します。

［オープニング表示］

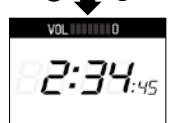
• マナーモードのときは、音は鳴らずにマナーモード表示を約2秒間表示します。

電源が入ると、「GPS測位機能」(☛ 24ページ)が働き、GPSの電波を受信すると、待受画面が表示されます。

2 音量を調節する

⊖アップ/⊖ダウンボタンで調節できます。

『ピッ』という確認音を聞きながら調節します。

最大音量からさらに⊖を押すと『ブブッ』と鳴ります。

［マナーモード表示］

音量「0」からさらに⊖を押すと「マナーモード」になります。解除するときは⊖を押します。

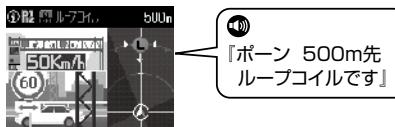
> **マナーモードについて**
>
> マナーモードにすると、マナーモード表示を約2秒間したあと、液晶表示は消え、音も鳴りません。
>
> • マナーモードは、⊖を押すと解除でき、他のボタンを押すとマナーモード表示となります。

3 すべての機能を使ってみる

• オールオンモードを選ぶ

⊙モードボタンを押して、オールオンモードを選択します。

※オールオンモードは、すべての機能がオン状態になります。「最適モード選択機能について」(☛ 36ページ)

GPSターゲットに近づくと…

デジタル無線を受信すると…

ステルス波を受信すると…

表示内容

※アイコン表示は、GPS測位状況や各種設定状況等により異なります。

つづく

2.2 インチの液晶画面にレーダー・GPS・無線の警報や告知を表示。複数の GPS ターゲットを表示する「レーダースコープⅡ」により、斬新な表現を実現しました。

アイコン表示について

	表示名	アイコン	表示の意味
❶	方位磁針表示		赤色の針が北方向を指します。(非測位時や停車状態のままでは青色の針で動きません)
❷	道路選択表示	R1	一般道のGPSターゲットを警報します。
		R2	高速道のGPSターゲットを警報します。
		R1/R2	一般道、高速道(全て)のGPSターゲットを警報します。
❸	駐車禁止監視エリア表示		駐車禁止監視エリア内で表示します。
❹	無線警報表示		カーロケ圏内判定中に表示します。
❺	ミュート表示		ミュート機能が作動中に表示します。
❻	レーダー受信感度モード表示	CESE	AACモードのON/OFFおよびレーダー受信感度等を表示します。(☛ 43ページ)
❼	ドライブ／ローカルモード表示	LDA	設定しているモードを表示します。
❽	GPS測位表示		GPS測位中は消灯し、非測位時は点滅します。

• 液晶表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。

GPSも、無線も、レーダーも、液晶表示とボイスのダブルで警報します。

・GPS 27識別
・無線14バンド識別
・ベスト・パートナー 6識別
・レーダー波 3識別

主な表示例は、次のとおりです。

メッセージ表示例

待受画面

待受画面(☛ 57ページ)の設定で変更可

時計

(時間、年月日、月齢、曜日、六曜を表示)

背景色　白

背景色　黒

速度

(走行速度、進行角度、緯度・経度を表示)

背景色　白

背景色　黒

※進行角度は、北(0°)に対しての角度表示です。

※走行速度は、GPS測位状態により実際とは異なる場合がありますので、目安程度にお考えください。

カレンダー1

背景色　白

背景色　黒

カレンダー2

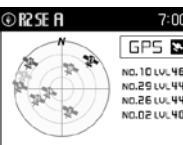
背景色　白

背景色　黒

測位情報

(衛星位置、衛星ナンバー、受信レベルを表示)

背景色　白

背景色　黒

※衛星ナンバーとは、衛星に割り当てられたナンバーです。

表示内容

※アイコン表示は、GPS測位状況や各種設定状況等により異なります。

インテリジェントアラーム

ターゲットが設定エリア圏外になると待受画面に自動切替え

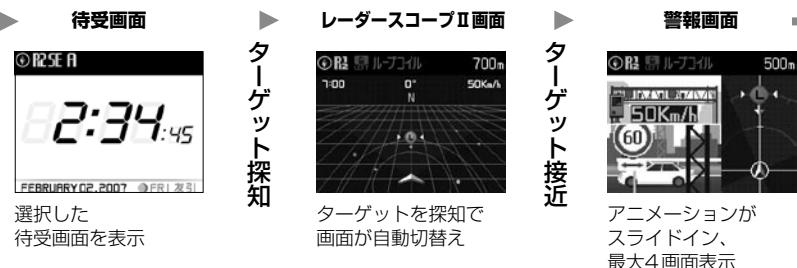
待受画面 ▶ レーダースコープⅡ画面 ▶ 警報画面

選択した
待受画面を表示

ターゲット探知

ターゲットを探知で
画面が自動切替え

ターゲット接近

アニメーションが
スライドイン、
最大4画面表示

※ オービスの警報画面は、1km／500m手前の警報時と、500m圏内中に表示します。（ターゲットにより警報画面に切替る距離が異なります。）

GPS/ループコイル警報画面

警報イラスト挿入（☛ 56ページ）の設定により、警報時のイラストのON/OFFが可能です。

イラスト表示OFF

イラスト表示ON

緯度・経度について

緯度・経度を表示させ、ity.MAPサービス（☛ 66、67ページ）をご活用いただけます。

○表示方法

ファンクションボタンを長押し（約1秒）する。

必ず、車を止めてから操作してください。

- 液晶表示部にQRコードと緯度（N）・経度（E）を約1分間表示します。
- 表示中は、移動しても緯度・経度は変わりません。
- GPS非測位のときは、緯度・経度は表示できません。
- 戻るときは、再度、ファンクションボタンを長押し（約1秒）してください。

複数ターゲット同時探知 レーダースコープⅡについて［特許出願中］（つづく）

レーダースコープⅡは、GPSデータ登録されているオービスなど複数のターゲットを警報画面で同時に表示できます。（最大2000mの範囲）

レーダースコープⅡ画面について

時計
時計を表示します。

進行方向
北を0°として進行方向を表示します。

自車アイコン
車輌の進行方向を示すアイコンです。

警報対象アイコン
警報の対象となるターゲットを表示します。

フォーカスアイコンのターゲット情報

自車速度
車の走行速度を表示します。

フォーカスアイコン
警報中のターゲットなどを自動ロックオンし、警報対象アイコンの左右に▶ ◀マークを表示します。
（自動ロックオン：緊急度の高いターゲット1つに絞り、警報範囲外になるまで自動で追尾します）

3D表示「ON」

方位
N（北）、E（東）、W（西）、S（南）で表示します。

進行方向
北を000として進行方向を表示します。

自車アイコン
車輌の進行方向を示すアイコンです。

フォーカスアイコンのターゲットまでの距離

スケール
レーダースコープⅡ画面で表示できる範囲で500m、1000m、2000mの3段階に切り替わります。

自車速度
車の走行速度を表示します。

3D表示「OFF」

※ フォーカスアイコンのターゲットがループコイル、LHシステム、Hシステム、レーダー式オービス、取締りエリア、検問エリア、Nシステム、交通監視システムの場合は、設置されている方向を矢印で表示します。

アイコン表示を設定する

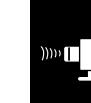
警報対象アイコンの表示をアイコン表示（☛ 56ページ）の設定でON/OFFできます。

※ フォーカスアイコンは、アイコン表示をOFFに設定している場合もON表示します。

レーダースコープIIについて

アイコン表示について

警報対象アイコンとフォーカスアイコンのターゲットは色で識別されます。

色	ターゲット	アイコン表示 ON	アイコン表示 OFF
赤色	ループコイル		
	LH システム		
	H システム		
	レーダー式オービス		
黄色	マイエリア		
	取締エリア		
	検問エリア		
	事故多発エリア		
	N システム		
青色	マイキャンセルエリア		
	交通監視システム		
	交差点監視ポイント		
	信号無視抑止システム		
	警察署		
	駐車場		
緑色	道の駅		
	サービスエリア		
	パーキングエリア		
	ハイウェイオアシス		
	ハイウェイラジオ受信エリア		

便利な機能について

オートクワイアット

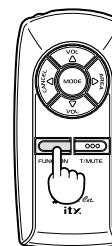
レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなります。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパーエクストラモードの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ワンタッチミラー機能

ファンクションボタンを1回押すと、液晶表示が消え、液晶の表示部分がミラーに切り替わります。

- 解除するときは、もう一度ファンクションボタンを押します。ファンクションボタンを押すたびに設定または解除できます。

- レーダー、無線、GPSターゲットの警報音はなくなりません。
- ワンタッチミラー機能が働いているときも、ボタン操作は可能です。
- ワンタッチミラー機能が働いているときは、マナーモード(☛ 14ページ)にすることができません。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができたら

警報中にテスト＆ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

お知らせボイス

最適モード選択機能(☛ 36ページ)のモードを選択する場合など、ボイスでお知らせします。

テストモード

テスト＆ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、警報音(電子音、メロディ、ボイス、クワイアットボイス)を確認することができます。
いったんテスト＆ミュートボタンを放し、1秒以内に再度押し続けると、次の手順で警報音や音声の確認ができます。

警報音(電子音､メロディ､ボイス､クワイアットボイス)

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

『ステルスです』『Hシステムです』

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

『ジャン　1km先　高速道　ループコイルです』
『ポーン　取締りエリアです　スピード注意』
『ピポパポーン　すぐ先 高速道　Nシステムです』
『ポーン　すぐ先　交差点監視ポイントです』
『ピポパポーン　すぐ先　事故多発エリアです』
『ピポパポーン　500m先　高速道　ハイウェイオアシスです』

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

『ピロローンピロローン　取締り無線です』
『ピロローンピロローン　カーロケ近接受信です』
『ピロローンピロローン　カーロケ圏外です』
『ピロローンピロローン　デジタル無線です』
『ピロローンピロローン　遠ざかりました』

1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す(最初に戻る)

レーダーアラーム機能について

本機は、Wアラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。[レーダーアラーム機能]

Wアラーム方式

音（電子音／メロディ／ボイス／クワイアットボイス）と液晶のダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近（電波の強弱）にあわせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	遠い → 近い
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
液晶	受信レベルが変化します。（受信レベル表示）

- 電子音以外はテンポアップしません。
- レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。（オートクワイアット機能）

レーダー波3識別（iDSP）について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術（integrated Digital Signal Processing-Technology）により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して液晶とボイスのダブルでお知らせします。さらに、インテリジェントキャンセル（☛ 44ページ）により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

[レーダー波3識別]（[ステルス識別]）[インテリジェントキャンセル]：特許 第3902553号

- iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

1 ステルス波

2 通常レーダー波

3 Iキャンセル告知

- レーダースコープⅡ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
- 新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

ボイス識別

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に本機で探知（受信）されないようにするため、待機中は電波を発射せず、スピードを出しすぎている車輌に対し、短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

＜ステルス波を受信したとき＞

受信

ピロピロピロ…
（クワイアットボイス選択時は『ピンポーン』）
『ステルスです
　ステルスです』

『ステルスです』と警報した後は、通常の警報音（メロディ、ボイス、クワイアットボイス、電子音）の警報になります。

GPS測位機能について

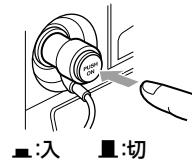
GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。
カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル式、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締り装置)にも警報します。
また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去の取締りや検問などがよく行われたゾーンなど、27種類のターゲットを識別してお知らせします。**[GPS27識別]**

●GPSデータの更新について

本機には、あらかじめオービス(無人式自動速度取締装置)やNシステムなどのGPSデータが登録されています。
最新データへの更新をご要望される場合、ity.ダウンロード機能(☛ 59ページ)をご覧ください。
また、お預かり更新サービス(送料別･税込¥5,250)をご要望される場合、最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

GPS測位機能を働かせる

シガープラグの電源スイッチを「ON」にすると、GPS測位機能が働きます。(GPS測位機能のみ「OFF」にすることはできません)

▃:入　█:切

電源 ON 後、初めての測位のときは、『ポーン 測位しました』とお知らせします。約 5 分経過しても測位できないときは、『ポーン GPS をサーチ中です』とお知らせします。

- 本機には、バッテリー(バックアップ電池)が内蔵されていますが、ご使用開始からの数日間や受信状況が悪い場合、GPS測位に時間がかかる場合があります。

通常、測位するまで、約10秒から約3分かかりますが、購入直後や、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、サーチに20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

- 測位したあとでも、GPSの電波を受信できない状態が約1分以上続くと、『ポーン GPSを受信できません』と非測位のお知らせをします。非測位のお知らせをしたあとに、再び測位すると『ポーン GPS を受信しました』とお知らせします。

GPS27識別について

つづく

内蔵メモリーに登録されているGPSデータのポイントに近づくと、オービスなどのターゲットを27種類に識別してお知らせします。

- 液晶表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。

ターゲット	警報画面	警報語句
1 ループコイル		『ポーン　500 m先 ループコイルです』
2 LH システム		『ポーン　500 m先 LH システムです』
3 新 H システム		『ポーン　500 m先 H システムです』
4 レーダー式オービス		『ポーン　500 m先 レーダーです』
5 トンネル出口ターゲット		『ポーン　トンネルの出口付近 高速道レーダーです』
6 オービス制限速度告知		『ポーン　1km 先 高速道レーダーです』『制限速度は 100 キロです』

GPS27識別について

つづく

ターゲット	警報画面	警報語句
7 オービスカメラ位置		『ポーン　500m 先 LH システムです』 『カメラは右側です』
8 マイエリア		『ポーン　500m 先 マイエリアです』
9 マイキャンセル		『I キャンセル中です』 （I キャンセルサウンド ON 時）
10 N システム		『ピポパポーン　すぐ先 N システムです』
11 交通監視システム		『ピポパポーン　すぐ先 交通監視システムです』
12 取締エリア		『ポーン　左方向　取締エリアです スピード注意』
13 検問エリア		『ポーン　右方向　検問エリアです』

ターゲット	警報画面	警報語句
14 取締・検問圏外		『ポーン　取締エリア外です』 『ポーン　検問エリア外です』
15 駐禁監視エリア （最重点地域） ※ 警報画面はアイコン表示のみ変わります。		『ポーン　この付近 駐禁最重点エリアです』
16 駐禁監視エリア （重点地域） ※ 警報画面はアイコン表示のみ変わります。		『ポーン　この付近 駐禁重点エリアです』
17 高速道制限速度切替りポイント ※ 警報画面は切替りません。		『ピポパポーン　高速道 制限速度は　100 キロです』
18 交差点監視ポイント		『ポーン　すぐ先 交差点監視ポイントです』
19 信号無視抑止システム		『ポーン　すぐ先 信号無視抑止システムです』
20 事故多発エリア		『ピポパポーン　すぐ先 事故多発エリアです』

使いかた／GPS編

ターゲット	警報画面	警報語句
21 警察署		『ピポパポーン　500 m先　警察署です』
22 道の駅		『ピポパポーン　500 m先　道の駅です』
23 サービスエリア		『ピポパポーン　500 m先　高速道サービスエリアです』
24 パーキングエリア		『ピポパポーン　500 m先　高速道パーキングエリアです』
25 ハイウェイオアシス		『ピポパポーン　500 m先　高速道ハイウェイオアシスです』
26 ハイウェイラジオ受信エリア		『ピポパポーン　高速道　ハイウェイラジオ　受信エリアです』
27 駐車場		※警報語句のお知らせはありません。

●トンネル出口ターゲット警報

トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警報できませんでしたが、トンネルの入口手前約500mと直前の2カ所(※)で、出口付近のオービスや道の駅などを液晶表示とボイスのダブルで警報します。

※ GPS測位または地理的な状況によっては、1回のみの警報になります。

●左右方向識別ボイス

GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、その方向をお知らせします。

- 『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示すわけではありません。
- ターゲットの反対方向に対してはお知らせしません。
- 「駐禁監視エリア」「高速道制限速度切替りポイント」「ハイウェイラジオ受信エリア」「駐車場」は左右識別しません。

●高速道識別ボイス

ターゲットが高速道に設置されている場合、ボイスでお知らせします。

●パトライト警報

警報中のターゲット(オービスのみ)が、500m圏内に入ると、背景色が青色から赤色に変わり、パトライトの回転でお知らせします。

※ パトライトは、株式会社パトライトの登録商標です。

(警報イラスト挿入/3D表示OFF設定時)

警告させたい地点を登録する（マイエリア登録）

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録することができます。

- 登録数は30カ所まで可能で、30カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の最も古いエリアを削除し新しいエリアを登録します。

● マイエリア登録をする

登録したい地点で ▶ エリアボタンを押します。

『ポーン マイエリアをセットしました』とお知らせします。

〈すでにマイエリア登録されていたエリアのとき…〉
『ポーン マイエリアにセットされています』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイエリア登録できなかったとき…〉
『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『ポーン GPS受信できません』とお知らせします。

● 登録したマイエリアを解除する

マイエリア登録されているエリアで、▶ エリアボタンを長押し（約1秒）します。

『ポーン マイエリアを解除しました』とお知らせします。

- すべてのマイエリアを解除（消去）したい場合は、「データ消去」（☛ 58ページ）を参照ください。

マイエリア登録したエリアに近づくと…

手前約1km／500m／通過中の３段階で警告します。

〈手前約1km（500m）のとき…〉
『ポーン 右（左）方向 1km（500m）先 マイエリアです』とお知らせします。

〈通過中…〉
『ポーン 通過します』とお知らせします。

- 手前約1kmで警告できなかったときは、警告句の『1km先』を『この先』とお知らせし、手前約500mで警告ができなかったときは、警告句の『500m先』を距離に応じて『300m /200m /100m/すぐ先』のいずれかでお知らせします。

レーダー警報をキャンセルしたい地点を登録する（マイキャンセルエリア登録）

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー警報をキャンセルします。

- 登録数は、「インテリジェントキャンセル（☛ 44ページ）」「マイキャンセル」の合計で100カ所まで可能で、100件を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古い地点を削除し、新しい地点を登録します。

● マイキャンセルエリア登録をする

登録したい地点で ◀ キャンセルボタンを押します。

『ポーン マイキャンセルエリアをセットしました』とお知らせします。

〈すでにマイキャンセルエリア登録されていたエリアのとき…〉
『ポーン マイキャンセルエリアにセットされています』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイキャンセルエリア登録できなかったとき…〉
『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『ポーン GPS受信できません』とお知らせします。

● 登録したマイキャンセルエリアを解除するとき…

マイキャンセルエリア登録されているエリアで、◀ キャンセルボタンを長押し（約1秒）します。
『ポーン マイキャンセルエリアを解除しました』とお知らせします。

- すべてのマイキャンセルエリアを解除（消去）したい場合は、「データ消去」（☛ 58ページ）を参照ください。

登録したマイキャンセルエリアに進入すると…

登録したキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに進入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

- Ｉキャンセルサウンド（☛ 45ページ）の設定がONの場合は、『Ｉキャンセル中です』とお知らせします。

17 BAND 17バンド受信機能について

つづく

取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、業界最多の17バンド受信ができます。

＋
＋
＝
1. 無線14バンド受信機能について

安心して、安全に運転していただくために、無線14バンド受信機能を搭載しました。
これらの無線を受信すると、液晶表示とボイスのダブルでお知らせします。**[無線14バンド識別]**

<各種無線を受信すると…>

受信バンド	警報画面	警報語句
① 取締無線		『ピロローン ピロローン 取締無線です』
② カーロケ無線		『ピロローン ピロローン カーロケ遠方受信です』 『ピロローン ピロローン カーロケ近接受信です』
③ デジタル無線		『ピロローン ピロローン デジタル無線です』
④ 取締特小無線		『ピロローン ピロローン 特小無線です』
⑤ ヘリテレ無線		『ピロローン ピロローン ヘリテレ無線です』
⑥ 署活系無線		『ピロローン ピロローン 署活系無線です』
⑦ レッカー無線		『ピロローン ピロローン レッカー無線です』
⑧ 消防無線		『ピロローン ピロローン 消防無線です』
⑨ 消防ヘリテレ無線		『ピロローン ピロローン 消防ヘリテレ無線です』
⑩ 新救急無線		『ピロローン ピロローン 救急無線です』
⑪ JH無線		『ピロローン ピロローン JH無線です』
⑫ 警備無線		『ピロローン ピロローン 警備無線です』

使いかた／無線編

受信バンド	警報画面	警報語句
⑬ 警察電話		『ピロローン ピロローン 警察電話です』
⑭ 警察活動無線		『ピロローン ピロローン 警察活動無線です』

- 液晶表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
- レーダースコープⅡ画面におけるターゲット表示と無線受信の発信元とは無関係です。

2. ベストパートナー 6 識別［特許出願中］

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。**［特許出願中］**
また、カーロケ無線（407,7MHz帯の電波）を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。**［圏外通知］［特許　第3780262号］**

- カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみ働きます。

●「取締無線」「カーロケ無線」「デジタル無線」の設定（☛ 53ページ）をすべて「ON」にする

- いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベストパートナー機能が働きません。

種々の無線を受信すると・・・

識別項目	注意内容	警報画面	警報語句
① 並走追尾注意	緊急車輌が近くにいる可能性が高いとき		『ピロローン ピロローン スピード注意』（2回くり返し）
② すれ違い注意	近くにいたと思われる緊急車輌などが、遠ざかった可能性が高いとき		『ピロローン ピロローン 遠ざかりました』（2回くり返し）
③ 取締注意	比較的近くで取締りなどが行われている可能性が高いとき		『ピロローン ピロローン 取締り注意』（2回くり返し）
④ 検問注意	比較的近くで検問などが行われている可能性が高いとき		『ピロローン ピロローン 検問注意』（2回くり返し）
⑤ カーロケ遠近識別	緊急車輌などが遠方のときや近接している可能性が高いとき		『ピロローン ピロローン カーロケ遠方受信です』
			『ピロローン ピロローン カーロケ近接受信です』
⑥ カーロケ圏内・圏外識別	カーロケ受信の発信元が、まだ近くにいる場合や遠ざかった可能性が高いとき		・カーロケ圏内中は、アイコンが表示され、警報語句のお知らせはありません。
			『ピロローン ピロローン カーロケ 圏外です』

- ③と④のボイスによるお知らせから、しばらくの間、レーダー受信感度モードがスーパーエクストラモードになります。（但し、「AAC/ASS」モードのとき ☛ 43ページ）
- 警報によるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
- レーダースコープⅡ画面におけるターゲット表示と無線受信の発信元とは無関係です。
- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。 現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなりますので、あらかじめご了承ください。 新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー6識別機能は働きません。

最適モード選択機能について

つづく

本機は、レーダー、GPS、無線の各種機能を個別に設定できます。
ご使用状況にあわせて「オールオンモード」、「ローカルモード」、「ドライブモード」、「ドライブローカルモード」の４モードから選択できます。
初期値は、「ドライブモード」に設定されています。
各モードの設定値は、「各モードの初期値一覧」(☛ 38ページ)をご覧ください。

オールオンモード：A
各種機能がすべてONに設定されています。

ローカルモード：L
通勤時など、ふだんの生活圏内でのご使用を想定し、必要最低限の機能をONに設定していますが、各種機能はお好みに応じて設定を変更することができます。

ドライブモード：D
ふだんの生活圏(ローカルエリア)外へ遠出する場合を想定し、初期値は、必要とされる機能をONに設定しています。設定内容は、お好みに応じて変更することができます。

ドライブ・ローカルモード： L または D
「ローカルモード」と「ドライブモード」を自動で切替えるモードです。
設定したローカルエリア内では「ローカルモード」で動作し、ローカルエリア外になると、自動的に「ドライブモード」になり、また、ローカルエリア内に戻ると「ローカルモード」と自動的に切替ります。

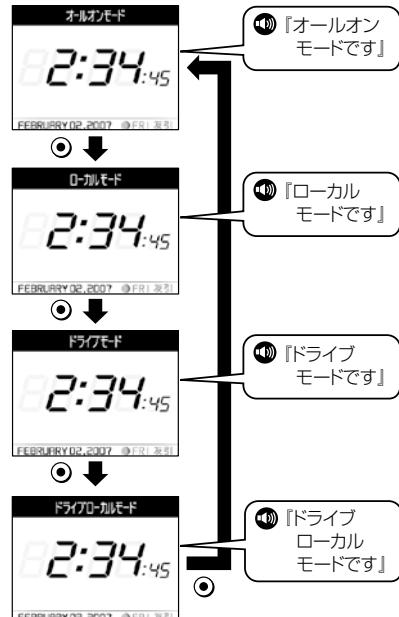
※ ローカルエリアの設定(☛ 37ページ)をしていない場合は、「ドライブ・ローカルモード」を選択しても、常にドライブモードとなりローカルモードに切替りません。

ローカルエリアとは・・・

ふだんの生活圏をローカルエリアとし、設定した登録位置を中心に、半径10km/20km/30kmの中から選択設定できます。

モード選択のしかた

1 モードボタンを押す

⦿モードボタンを押すたびにモードが変わり、液晶表示とボイスのダブルでお知らせします。

<「ローカルエリア」の設定のしかた>

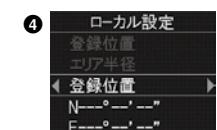
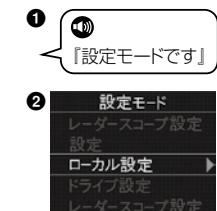
❶ ⦿モードボタンを長押し(約1秒)で設定モードにする

❷ 「ローカル設定」を選択し、決定する

❸ 「エリア設定」を選択し、決定する

❹ 「登録位置」を選択し、決定する

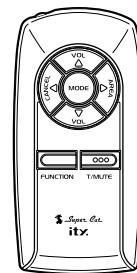
❺ 「現在位置登録」を選択し、決定する
- 「衛星測位中」→「設定しました」→「登録位置/N…/E…」(現在位置の緯度・経度)が表示され、登録が完了します。
- GPS測位できない場合は、『ビービビ』と鳴り、「設定できません」と表示されます。

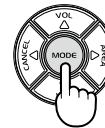
❻ ⦿モードボタンを長押し(約1秒)で操作モードに戻る
- エリア半径(初期値：半径10km)を変更したい場合は、❹の項目で「エリア半径」を選択・決定し、「半径10km」「半径20km」「半径30km」の中から選択し、決定してください。

最適モード選択機能について

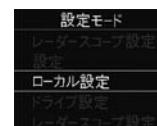
各モードの初期値一覧

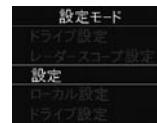
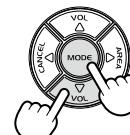
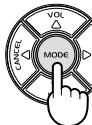
		●ローカルモード（設定変更可）	●ドライブモード（設定変更可）	●オールオンモード（設定変更不可）
レーダー	警報音	メロディ	メロディ	（ドライブモードの値と同じ）
	受信感度モード	AAC/ASS	AAC/ASS	（ドライブモードの値と同じ）
	Iキャンセル	ON	ON	ON
	Iキャンセルサウンド	OFF	OFF	ON
	反対キャンセル	ON	ON	ON
GPS	測位アナウンス	ON	ON	ON
	道路選択	オート	オート	（ドライブモードの値と同じ）
	オービス	ON	ON	ON
	直前速度告知	ON	ON	ON
	通過告知	ON	ON	ON
	制限速度告知	ON	ON	ON
	カメラ位置告知	ON	ON	ON
	Nシステム	OFF	ON	ON
	交通監視システム	OFF	ON	ON
	検問・取締エリア	OFF	ON	ON
	交差点監視	OFF	OFF	ON
	信号無視抑止	OFF	OFF	ON
	事故多発エリア	OFF	OFF	ON
	警察署	OFF	OFF	ON
	道の駅	OFF	OFF	ON
	サービスエリア	OFF	OFF	ON
	パーキングエリア	OFF	OFF	ON
	ハイウェイオアシス	OFF	OFF	ON
	ハイウェイラジオ	OFF	OFF	ON
	制限速度切替告知	ON	ON	ON
	速度超過告知	ON	ON	ON
	駐禁監視エリア告知	OFF	ON	ON
	駐車場表示	OFF	OFF	ON
無線	無線警報	ボイス	ボイス	（ドライブモードの値と同じ）
	受信感度	LO	LO	HI
	取締無線	ON	ON	ON
	カーロケ無線	ON	ON	ON
	デジタル無線	OFF	ON	ON
	ヘリテレ無線	OFF	OFF	ON
	特小無線	OFF	OFF	ON
	警察電話	OFF	OFF	ON
	警察活動無線	OFF	OFF	ON
	署活系無線	OFF	OFF	ON
	消防無線	OFF	OFF	ON
	消防ヘリテレ無線	OFF	OFF	ON
	レッカー無線	OFF	OFF	ON
	救急無線	OFF	OFF	ON
	JH無線	OFF	OFF	ON
	警備無線	OFF	OFF	ON
エリア設定	登録位置	未登録	－	－
	エリア半径	10km	－	－

各種設定のしかた

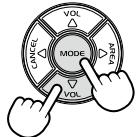
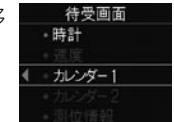
各種設定は、液晶画面を見ながら、リモコンのボタン操作で行います。

例 待受画面を「カレンダー1」に設定変更するには・・・

1 「設定モード」にする

◉モードボタンを長押し（約1秒）します。

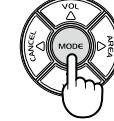
●選択項目が反転表示されます。

2 「設定」を選択、決定する

▽ボタンを3回押して「設定」を選択し、◉モードボタンを押します。

3 「待受画面」の項目を決定する

◉モードボタンを押します。

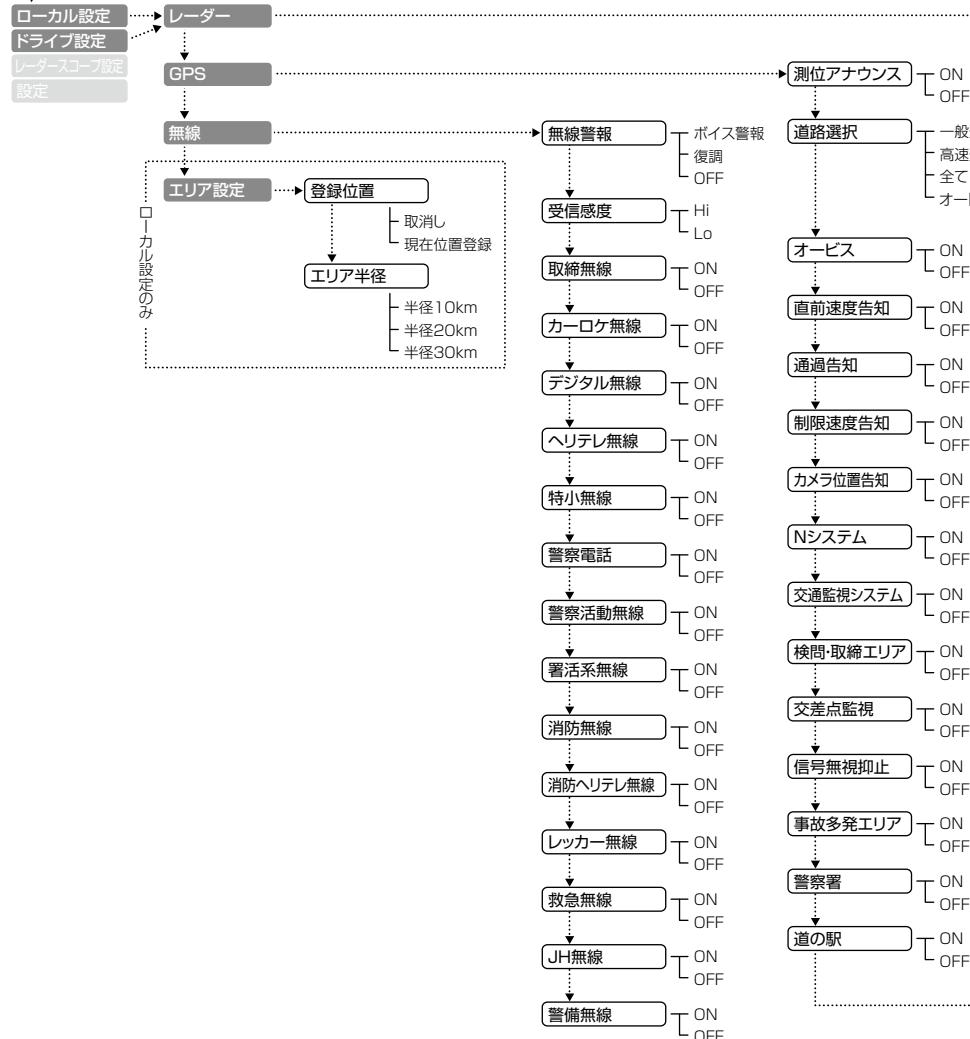
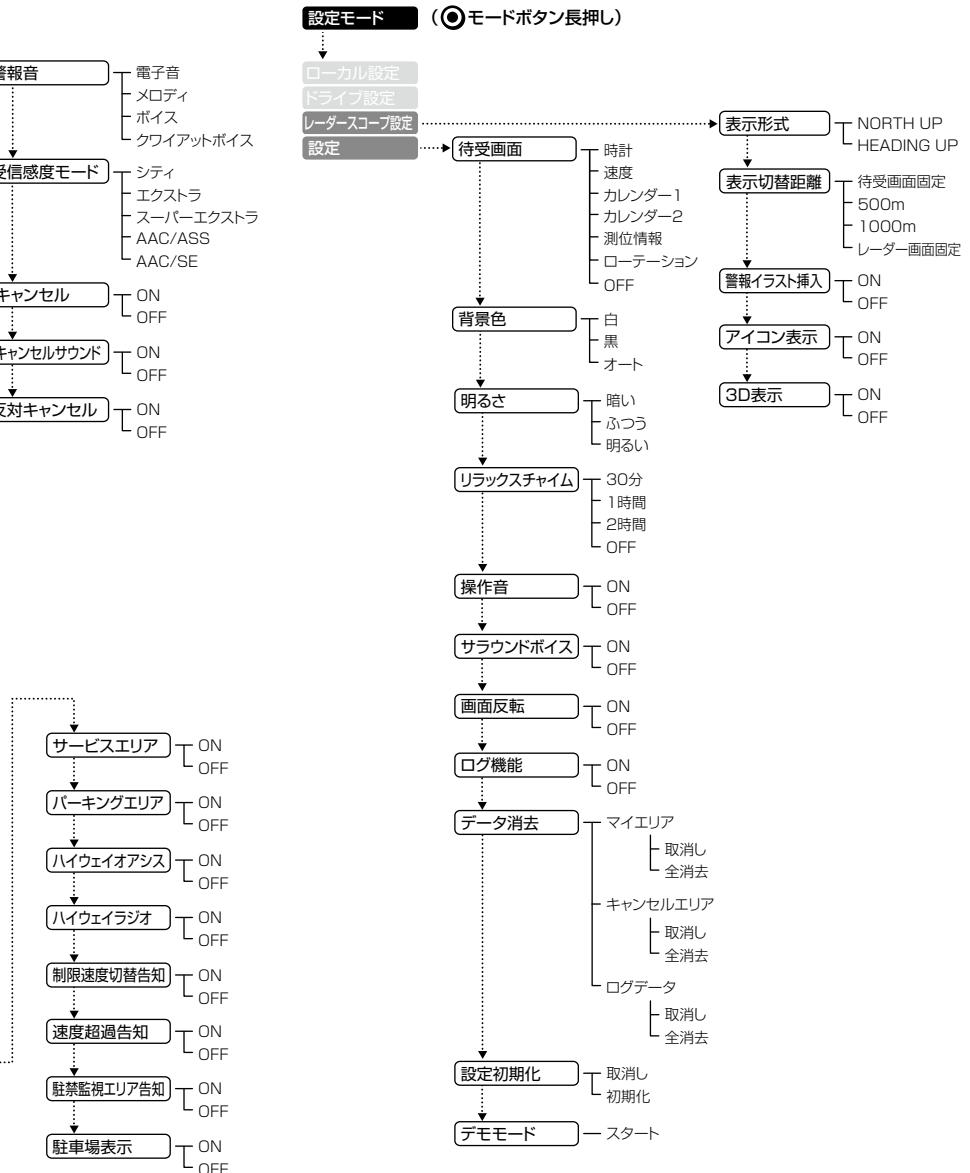
4 「カレンダー1」を選択し、決定する

▽ボタンを2回押して「カレンダー1」を選択し、◉モードボタンを押します。

●変更した項目に「●」が移ります。

5 「操作モード」に戻る

◉モードボタンを長押し（約1秒）します。

設定終了後、5分以内に再度「設定モード」にすると、前回設定した項目が最初に表示されます。

設定メニューのフローチャート

設定メニューのフローチャートにそって各項目の設定変更の操作ができます。

使いかた／設定編

「レーダー」の設定項目について

つづく

※詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛ 39ページ)をご覧ください。

◉ モードボタンを長押し(約1秒)する

「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選択する

- ローカルモードでご使用の場合はローカル設定、ドライブモードでご使用の場合はドライブ設定を選択してください。

「レーダー」を選択する

〈警報音〉

レーダー波受信時の警報音を選択できます。

選択項目	警報のしかた
電子音	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
メロディ	レーダー波を受信すると𝄞「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」のメロディアラームで警報します。
ボイス	『ピンポーン　ピンポーン』のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
クワイアットボイス	『ピンポーン　レーダーです』と約10秒に1回ボイスで警報します。

- オールオンモードでご使用の場合は、「ドライブ設定」で設定した値が適用されます。

〈受信感度モード〉

選択項目	アイコン表示	受信感度モード	
シティ エクストラ スーパーエクストラ	C E SE	シティモード エクストラモード スーパーエクストラモード	固定
AAC/ASS	⊖(時速30km未満) C E SE (車速により変化)	AAC/不要警報カット ＋ASS/最適感度選択モード	自動選択
AAC/SE	⊖(時速30km未満) SE(時速30km以上)	AAC/不要警報カット +スーパーエクストラモード	固定

●受信感度の切替え(マニュアル)

	受信感度	走行環境や条件
高い	スーパーエクストラモード	高速道路
↑	エクストラモード	郊外や高速道路
低い	シティモード	市街地

受信感度モードについて

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。
走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。
また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

- オールオンモードでご使用の場合は、「ドライブ設定」で設定した値が適用されます。

「AAC/ASS」モードについて

GPSの速度検出機能により、AAC/不要警報カットやASS/最適感度選択の機能が働きます。

AAC/不要警報カット

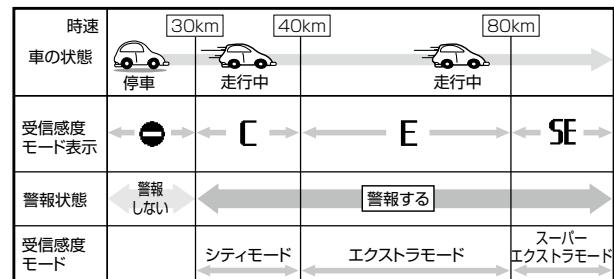
●走行速度が時速30km未満の場合は…
取締りレーダー波を受信しても、警報をカットしますので、停車中や低速走行中に、自動ドア等の電波を受信しても、誤警報することはありません。

- GPS測位ができない状態では、AACシステムは作動せず、30km/h以下でも警報はカットされません。

ASS/最適感度選択

●走行速度が時速30km以上の場合は…
走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

走行速度	受信感度
30km ～ 39km	シティモード
40km ～ 79km	エクストラモード
80km ～	スーパーエクストラモード

「AAC/ASS」モードにすると低速走行/停車中の不要な警報を抑え、さらにASS機能が働いて走行速度に応じて受信感度が自動的に変化します。

- 電源ON後、GPS測位するまでの間は、スーパーエクストラモードになります。
- 走行中にGPS測位ができなくなると、そのときの受信感度から時間経過でスーパーエクストラモードに変化します。

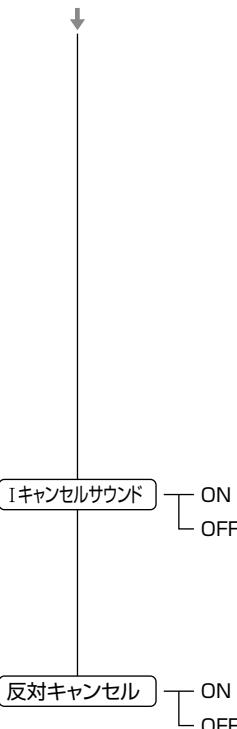
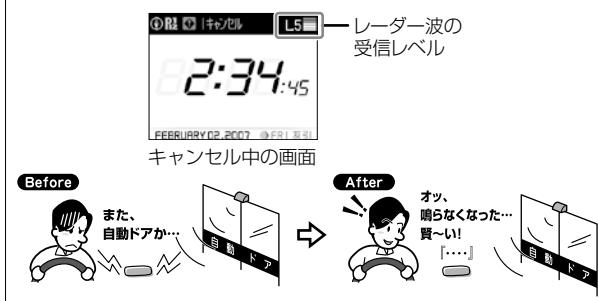
I キャンセル ── ON / OFF

〈I キャンセル〉(インテリジェントキャンセル) [特許 第3902553号]

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時にレーダー波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。
登録数はインテリジェントキャンセル、マイキャンセルをあわせ100カ所まで登録され、それを超えると通過履歴の最も古いものを削除し、新しいものを登録します。

インテリジェントキャンセルのしくみ

① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。**[1回目]**
② 取締りレーダー波かどうかを識別。
③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。**[2回目以降]**

キャンセル中の画面

- GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- キャンセルされないエリアでは、マイキャンセルをあわせてご利用ください。
- インテリジェントキャンセル中(液晶で「I キャンセル」表示中)に、◀キャンセルボタンを押すと、インテリジェントキャンセルエリアからマイキャンセルエリアに変化(登録)します。
- 「I キャンセル」を「OFF」に設定すると、インテリジェントキャンセル機能を停止させることができます。
- 自動登録したエリアは、「Iキャンセル」の設定や電源をOFFにしても記憶されています。
- 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「データ消去」(☛ 58ページ)をご覧ください。
- オールオンモードでご使用の場合は、インテリジェントキャンセルをOFFに設定できません。

〈I キャンセルサウンド〉(インテリジェントキャンセルサウンド)

インテリジェントキャンセル中、マイキャンセル中に、『I キャンセル中です… I キャンセル中です…』と10秒に1回音声を発する機能です。

- オールオンモードでご使用の場合は、インテリジェントキャンセルサウンドをOFFに設定できません。

〈反対車線オービスキャンセル機能〉

本機が搭載するGPSデータの中で、レーダー式オービス・Hシステム式オービスポイントの反対車線における、レーダー受信警報をキャンセルする機能です。

- オールオンモードでご使用の場合は、反対車線オービスキャンセル機能をOFFに設定できません。

「GPS」の設定項目について

(つづく)

「ローカルモード」「ドライブモード」におけるGPS機能の各項目を設定できます。

• 詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛ 39ページ)をご覧ください。

◉ モードボタンを長押し(約1秒)する

「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選択する

• ローカルモードでご使用の場合はローカル設定、ドライブモードでご使用の場合はドライブ設定を選択してください。

「GPS」を選択する

〈測位アナウンス〉

GPSの電波の受信状態が良くない場合、『ポーンGPSを受信できません』『ポーン GPSを受信しました』をくり返すことがあります。

• 測位アナウンス「OFF」の場合は、電源ON後の一回目の測位アナウンスもしません。
• オールオンモードでご使用の場合は、常に測位アナウンス「ON」となります。

道路選択 ─ 一般道 / 高速道 / 全て / オート

〈道路選択〉

GPS警報する道路を「一般道」「高速道」「全て」「オート」から選択することができます。

• GPS27識別警報のハイウェイオアシスは、「一般道」に設定された場合もGPS告知されます。
• オールオンモードでご使用の場合は、「ドライブ設定」で設定した値が適用されます。

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
全て	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート	一般道と識別できたときは、一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは、高速道のターゲットのみ警報します。 • 認識が困難な状況や認識中の場合は、一般道/高速道の両方のターゲット表示・警報になることがあります。 • GPS測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。 • 高速道に乗っている時間が短い場合は、高速道に判定されないことがあります。 • 渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に判定されません。

〈オービス〉

ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式のオービス5段階警報のON/OFFができます。

オービス5段階警報とは?

オービスの手前2km(高速道のみ)/1km/500m/通過直前/通過時の最大5段階で警報します。2km、1kmの警報ポイントの警報ができなかったときは『この先』とボイスでお知らせし、500mの警報ポイントで警報ができなかったときは、距離に応じて『300m/200m/100m/すぐ先』のいずれかでお知らせします。

• 約2km手前の警報(高速道のみ)は、オービスからの角度が右手または左手方向に約40度以内で、その路線の制限速度を超えて走行している場合にお知らせします。

〈直前速度告知〉

「オービス直前速度告知」のON/OFFができます。
オービス直前の車の速度をボイスで告知します。『ポーン　速度は○○です』

• 速度は『120キロ以上/120キロ以下/110キロ以下/100キロ以下/90キロ以下/80キロ以下/70キロ以下/60キロ以下/50キロ以下/40キロ以下』のいずれかで告知します。

〈通過告知〉

「オービス通過告知」のON/OFFができます。
オービスの撮影ポイント(※)やマイエリアの通過をお知らせします。
『…通過します』

※ GPSの測位状況により、実際のオービスの直下ではなく、通過前や通過後に告知される場合があります。

〈制限速度告知〉

オービスが設置されている道路の制限速度を、約1km手前のオービス警報に続けて、制限速度をお知らせします。
『ポーン 1km先に…』『制限速度は○○です』『スピード注意』

• 制限速度は『40キロ/50キロ/60キロ/70キロ/80キロ/90キロ/100キロ』のいずれかで告知します。
• 『スピード注意』のお知らせは、速度超過告知(☛ 51ページ)を「ON」に設定し、制限速度を超えて走行時のみ告知します。
• 普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承願います。状況に応じた規制速度で走行してください。
• 走行速度は、GPSの測位状況により実際の速度と異なる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

つづく

〈カメラ位置告知〉

約500m手前のオービス警報に続いて、オービスのカメラ位置をお知らせします。
『ポーン 500m先・・』『カメラは○○です』

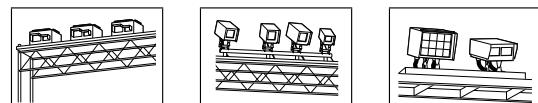
• カメラ位置は「右側」「左側」「正面」のいずれかで告知します。

〈Nシステム〉

「Nシステム告知」のON/OFFができます。
Nシステムは約300m手前から通過直前に、『ピポパポーン（右／左方向）すぐ先（高速道）Nシステムです』とお知らせします。

• 「Nシステム告知」された場合でも、実際は稼動していないNシステムもあります。

Nシステムとは？

「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名のとおり走行中の自動車のナンバーを道路上に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車輌の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。

交通監視ｼｽﾃﾑ
ON
OFF

〈交通監視システム〉

「交通監視システム告知」のON/OFFができます。
交通監視システムは約300m手前から通過直前に、『ピポパポーン（右／左方向）すぐ先 交差点監視システムです』とお知らせします。

• 現在、交通監視システムは一般道にのみ設置されています。

交通監視システムとは？

交通監視システムとは「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。
本システムは東京都港湾局の管轄で、計測した車速により『速度落とせ』や『速度オーバー』等を掲示板で警告しますが、スピード取締りの実積はありません。

〈検問・取締エリア〉

「検問・取締エリア警報」のON/OFFができます。
検問・取締エリア警報では、過去の取締りや検問などがよく行われたエリアが登録されていて、そのエリアの中心から約1㎞手前の警報の他に、エリアの中に入ったとき、そしてエリア圏外になったときの3段階ともお知らせします。

• 取締りエリアや検問エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に行われている訳ではありません。目安としてお考えください。

取締りエリアの場合	
1km 手前…	『ポーン（右 / 左方向） 1km 先（高速道）取締りエリアです』
取締エリアの中に入ったとき…	『ポーン　取締りエリアです　スピード注意　取締りエリアです　スピード注意』
取締エリア圏外になったとき…	『ポーン　取締りエリア外です』

検問エリアの場合	
1km 手前…	『ポーン（右 / 左方向） 1km 先（高速道）検問エリアです』
検問エリアの中に入ったとき…	『ポーン　検問エリアです　検問エリアです』
検問エリア圏外になったとき…	『ポーン　検問エリア外です』

〈交差点監視〉

「交差点監視ポイント警報」のON/OFFができます。
過去に交差点で検問が行われたポイントが登録されていて、約300m手前になると、『ポーン（右／左方向）すぐ先 交差点監視ポイントです』とお知らせします。

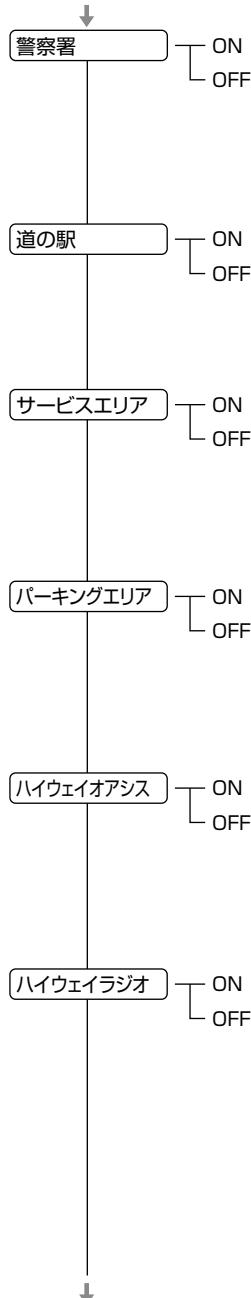
〈信号無視抑止〉

「信号無視抑止システム告知」のON/OFFができます。
信号無視抑止システムは約300m手前から通過直前に、『ポーン（右／左方向）すぐ先 信号無視抑止システムです』とお知らせします。

事故多発エリア
ON
OFF

〈事故多発エリア〉

「事故多発エリア告知」のON/OFFができます。
過去に事故が多発したエリアが登録されていて、約300m手前になると、『ピポパポーン（右/左方向）すぐ先 事故多発エリアです』とお知らせします。

警察署 ON / OFF

〈警察署〉

全国の警察署が登録されていて、約500m手前から通過直前に、『ピポパポーン（右／左方向）500m先 警察署です』とお知らせします。

- 約500m以内のときは、距離に応じて『300m／200m／100m／すぐ先に』のいずれかで告知します。

道の駅 ON / OFF

〈道の駅〉

「道の駅告知」のON/OFFができます。
全国の道の駅が登録されていて、約1km(500m)手前になると、『ピポパポーン（右/左方向）1km(500m)先　道の駅です』とお知らせします。

サービスエリア ON / OFF

〈サービスエリア〉

「サービスエリア告知」のON/OFFができます。
全国の高速道サービスエリアが登録されていて、約1km(500m)手前になると『ピポパポーン（右／左方向）1km(500m)先高速道サービスエリアです』とお知らせします。

パーキングエリア ON / OFF

〈パーキングエリア〉

「パーキングエリア告知」のON/OFFができます。
全国の高速道パーキングエリアが登録されていて、約1km(500m)手前になると、『ピポパポーン（右／左方向）1km(500m)先高速道パーキングエリアです』とお知らせします。

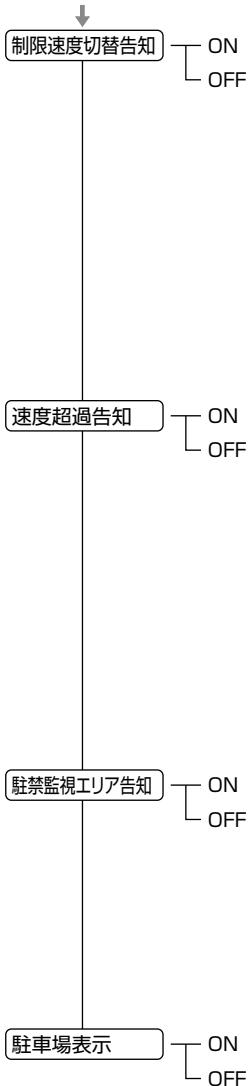
ハイウェイオアシス ON / OFF

〈ハイウェイオアシス〉

「ハイウェイオアシス告知」のON/OFFができます。
全国の高速道ハイウェイオアシスが登録されていて、約1km(500m)手前になると、『ピポパポーン（右／左方向）1km(500m)先高速道ハイウェイオアシスです』とお知らせします。

ハイウェイラジオ ON / OFF

〈ハイウェイラジオ〉

「ハイウェイラジオ受信エリア告知」のON/OFFができます。
全国のハイウェイラジオ受信エリアが登録されていて、約100m手前になると、『ピポパポーン 高速道ハイウェイラジオ受信エリアです』とお知らせします。

〈制限速度切替告知〉

「高速道制限速度切替りポイント告知」のON/OFFができます。
高速道路における制限速度を高速道への進入ポイントやパーキングエリアなどの出口ポイント、高速道切替りポイントで、ボイスでお知らせします。
『ピポパポーン 高速道制限速度は○○です』

- 制限速度は『40キロ／50キロ／60キロ／70キロ／80キロ／90キロ／100キロ』のいずれかで告知します。
- 普通自動車に対する制限速度をお知らせします。事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承願います。状況に応じた規制速度で走行してください。
- 走行速度は、GPSの測位状況により実際の速度とは異なる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

〈速度超過告知〉

オービス制限速度告知、直前速度の告知、制限速度切替告知時に制限速度を超えて走行している場合、各告知に続けて『スピード注意』とお知らせします。

- 制限速度を10km/h以上超過している場合は『スピード注意』、制限速度を30km/h以上超過している場合は『速度超過です　スピード注意』とお知らせします。
- 普通自動車の制限速度に対しての速度超過をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承願います。状況に応じた規制速度で走行してください。
- 走行速度は、GPSの測位状況により実際の速度と異なる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

〈駐禁監視エリア告知〉

「駐車禁止監視エリア告知」のON/OFFができます。
本機に登録されている違法駐車取締りの活動ガイドラインの最重点地域・重点地域内に進入すると、『ポーン この付近 駐禁最重点(重点)エリアです』とお知らせします。

- 駐禁監視エリア告知があった場合、ity. MAPサービス(☛ 66、67ページ)を利用して、最寄りの駐車場を探すことができます。

〈駐車場表示〉

「有料駐車場表示」のON/OFFができます。
違法駐車取締り活動ガイドラインの最重点地域内に登録されている有料駐車場ポイントを表示します。

「無線」の設定項目について

（つづく）

「ローカルモード」「ドライブモード」における無線機能の各項目を設定できます。
※詳しい操作方法は「各種設定のしかた」（☛ 39ページ）をご覧ください。

設定モード

◉ モードボタンを長押し（約1秒）する

ローカル設定
ドライブ設定

「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選択する

• ローカルモードでご使用の場合はローカル設定、ドライブモードでご使用の場合はドライブ設定を選択してください。

無線

「無線」を選択する

無線警報 ― ボイス警報／復調／OFF

〈無線警報〉

各種無線の警報を「ボイス警報」「復調」「OFF」の中から選択することができます。

• 「OFF」に設定すると、すべての無線警報を行いませんのでご注意ください。
• オールオンモードでご使用の場合は、「ドライブ設定」で設定した値が適用されます。

「ボイス警報」設定のとき

• 各無線を受信すると、ボイスが１フレーズ鳴ります。
• 30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスと液晶表示のお知らせはありません。
• ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信した場合、レーダー警報が優先されます。

「復調」設定のとき

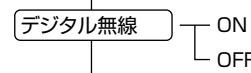
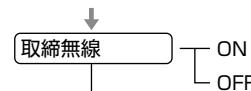
• 各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルをボイスでお知らせします。
• 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。
• デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。
• 各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
• 各無線を音声受信している場合に、取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。

受信感度 ― Hi／Lo

〈受信感度〉

無線受信感度を「Hi」「Lo」の２段階で切替えることができます。

• オールオンモードでご使用の場合は、「Hi」固定で設定変更できません。

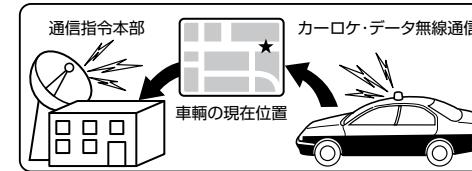
取締無線 ― ON／OFF

〈取締無線〉

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いた無線で連絡が行われることがあります。
350.1MHz取締り無線受信機能は、このような取締りに威力を発揮します。

• 取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いた無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

カーロケ無線 ― ON／OFF

〈カーロケ無線〉

カーロケーターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局（パトカー等）の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。
カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。

• カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合がありますので、カーロケ無線を受信できないことがあります。
• カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信できる地域であっても、新システムへの移行により、受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域では、カーロケ無線の警報ができません。
• 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。

デジタル無線 ― ON／OFF

〈デジタル無線〉

デジタル無線とは、各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。
カーロケ帯受信機能と同じように、事前に察知することにより、緊急車輌の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

ヘリテレ無線 ─ ON / OFF

〈ヘリテレ無線〉

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で、ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使われる無線がヘリテレ無線です。

• 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

特小無線 ─ ON / OFF

〈特小無線〉

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われることが一般的ですが、特定小電力無線が用いられる場合があります。

• 取締り現場の連絡用として使われていない場合もありますので、ご了承ください。

警察電話 ─ ON / OFF

〈警察電話〉

移動警察電話（移動警電）ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。

警察活動無線 ─ ON / OFF

〈警察活動無線〉

主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。

署活系無線 ─ ON / OFF

〈署活系無線〉

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。

消防無線 ─ ON / OFF

〈消防無線〉

消防車が消火活動時や、活動後に消防署に帰るまでに連絡用として使われる無線が消防無線です。
あらかじめ受信察知することにより、消防車の通行の妨げにならないようにするためのものです。

消防ﾍﾘﾃﾚ無線 ─ ON / OFF

〈消防ヘリテレ無線〉

ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われる無線が消防ヘリテレ無線です。

• 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

レッカー無線 ─ ON / OFF

〈レッカー無線〉

主に関東／東海／阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。このため他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。あらかじめご了承ください。

救急無線 ─ ON / OFF

〈新救急無線〉

救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。
あらかじめ受信察知することにより、救急車の通行の妨げにならないようにするためのものです。

JH無線 ─ ON / OFF

〈JH無線（日本道路公団無線）〉

JH（日本道路公団）の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報等でパトロール車輌と本部との連絡に使用されている無線です。

• JH（日本道路公団）は民営化により、NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本になりました。

警備無線 ─ ON / OFF

〈警備無線〉

主に警備会社が使用する無線です。

「レーダースコープ設定」の設定項目について

※詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛ 39ページ)をご覧ください。

◉ モードボタンを長押し(約1秒)する

「レーダースコープ設定」を選択する

〈表示形式〉

レーダースコープⅡ画面の向きをNORTH UP(常に北が上になるような表示)とHEADING UP(常に車の進行方向が上になるような表示)に切替えることができます。

- 初期値は「HEADING UP」に設定されています。

〈表示切替距離〉

待受画面からレーダースコープⅡ画面に切替わる距離を選択できます。

- 待受画面固定を選択した場合は、レーダースコープⅡ画面に切替りません。
- 初期値は「1000m」に設定されています。
- レーダー画面固定を選択した場合は、常にレーダースコープⅡ画面を表示します。

〈警報イラスト挿入〉

「警報イラスト挿入」のON/OFFができます。

- 「ON」にすると警報時にレーダースコープⅡ画面の左側に警報イラストを表示します。
- 「OFF」にすると警報時にイラストを表示しません。
- 表示切替距離の設定で、「待受画面固定」を選択すると、警報時は待受画面のままアイコン部のみ警報表示します。
- 初期値は「ON」に設定されています。

〈アイコン表示〉

「警報対象アイコン表示」のON/OFFができます。

- レーダースコープⅡ画面でフォーカスターゲット以外のターゲットのアイコン表示を切替えることができます。
- 初期値は「OFF」に設定されています。

〈3D表示〉

「レーダースコープⅡ画面の3D表示」をON/OFFします。

- 初期値は「ON」に設定されています。

「設定」の各項目について

つづく

※詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛ 39ページ)をご覧ください。

設定モード
- 設定
  - 待受画面：時計／速度／カレンダー1／カレンダー2／測位情報／ローテーション／OFF
  - 背景色：白／黒／オート
  - 明るさ：暗い／ふつう／明るい
  - リラックスチャイム：30分／1時間／2時間／OFF

◉ モードボタンを長押し(約1秒)する

「設定」を選択する

〈待受画面〉

待受時の表示画面を「時計」「速度」「カレンダー１」「カレンダー2」「測位情報」「ローテーション」「OFF」の中から選択することができます。

- 日付および時刻は、GPSからの電波を受信して、自動的に設定されます。(測位状況により時間に誤差が出ることがあります。)
- 測位情報は衛星数、衛星ナンバー、受信レベルを表示します。
- ローテーションは「時計」「速度」「カレンダー１」「カレンダー2」「測位情報」が１分間隔で切替ります。
- 「OFF」に設定すると待受画面は表示されません。
- 初期値は「時計」に設定されています。
- 表示切替距離(☛ 56ページ)の設定で、「レーダー画面固定」を選択すると、常にレーダースコープⅡ画面を表示します。

※ 待受画面で表示する速度や進行方向は、実際とは大きく異なることがありますので、目安程度にお考えください。

〈背景色〉

待受画面の背景を「白」「黒」「オート」から選択することができます。オートを選択した場合、フレックスディマーにより、背景色が自動で切替ります。

- 初期値は「オート」に設定されています。
- フレックスディマー … GPSの時刻情報を利用し、地域および季節に応じて背景色が自動で切替ります。

〈明るさ〉

液晶表示の明るさを「暗い」「ふつう」「明るい」の３段階で切替えることができます。

- 初期値は「ふつう」に設定されています。

〈リラックスチャイム〉

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。
電源ON後、設定時間が経過するたびに『ピポパポーン　長時間運転しています　休憩しませんか？』の音声でお知らせします。

- 「30分」「１時間」「２時間」「OFF」の中から選択できます。
- 初期値は「２時間」に設定されています。

操作音 ─ ON / OFF
サラウンドボイス ─ ON / OFF
画面反転 ─ ON / OFF
ログ機能 ─ ON / OFF
データ消去 ─ マイエリア（取消し / 全消去）／キャンセルエリア（取消し / 全消去）／ログデータ（取消し / 全消去）
設定初期化 ─ 取消し / 初期化
デモモード ─ スタート

〈操作音〉

リモコン操作時の確認音を「ON」か「OFF」に設定できます。

- 「OFF」に設定するとリモコン操作時の確認音が出ません。
- 初期値は「ON」に設定されています。

〈サラウンドボイス〉

「ON」を設定すると、臨場感のあるボイスでお知らせします。

- 初期値は「ON」に設定されています。

〈画面反転〉

液晶表示画面の上下を逆転させることができます。

- 「ON」に設定すると画面が逆転します。
- 初期値は「OFF」に設定されています。

〈ログ機能〉

「ON」に設定すると、約12時間分の走行データを記録することができます。(☛ 70ページ)

- 初期値は「OFF」に設定されています。

〈データ消去〉

「マイエリア」「キャンセルエリア（インテリジェントキャンセル・マイキャンセル）」「ログデータ」の登録データをすべて消去することができます。

- 消去したい「マイエリア」、「キャンセルエリア」または「ログデータ」を選び、「全消去」するとすべてのデータが消去されます。
- いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。
- 本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

〈設定初期化〉

「初期化」を選択・設定するとお買い上げ時の設定状態にリセットします。

〈デモモード〉

レーダー受信やGPS警報などの音声やイラスト表示を実演できます。

- スタートを選択するとデモモードが始まります。
- デモモード中にリモコン操作するとデモモードは終了します。

ity.クラブ
年会費プランⅡ

GPSデータ更新
［SDカードダイレクト方式］

年会費 ¥5,250（税込） **入会金** ¥2,100（税込）

パソコンやFOMAで、GPSデータ更新ができます。
更新のためにレーダー探知機を預けずに済むので、毎日お使いの方にも安心です。

※FOMAは、NTT DoCoMoの携帯電話です。

GPSデータを更新しよう！

ity.クラブの専用サイトにアクセスし、GPSデータをダウンロード、SDカードに保存してレーダー探知機に転送。

● 更新できるGPSデータは・・・

データ名称	データの内容
オービスデータ	ループコイル、LHシステム、新Hシステム、レーダー式オービス、トンネル出口ターゲット、Nシステム、交通監視システム、オービスカメラ位置、オービス制限速度、検問エリア、取締りエリア
コンテンツデータ①	警察署、交差点監視ポイント、事故多発エリア、道の駅、信号無視抑止システム、サービスエリア、パーキングエリア、ハイウェイオアシス、ハイウェイラジオ受信エリア
コンテンツデータ②	高速道制限速度切替りポイント
コンテンツデータ③	駐禁監視エリア（最重点地域、重点地域）、駐車場（駐禁最重点エリア内）

使用できるSDカード

● 使用できるSDカードは、次の３種類です。

microSDカード

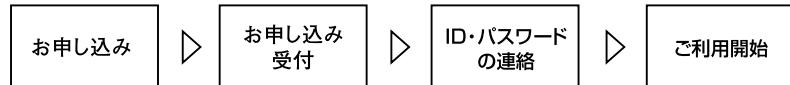
miniSDカード

SDカード

- 容量は、2GB以下のものをご使用ください。
- SDカードは、本機専用でご使用ください。
- miniSDカード、microSDカードをご使用になる場合は、SDカード変換アダプターが必要となります。

お申し込み方法

■ **パソコンで　http://yupiteru.co.jp/ityclub/index.html**
■ **FOMAで　http://www.yupiteru.co.jp/i/**
に接続して、手順に従ってお申し込みしてください。

お申し込み ▷ お申し込み受付 ▷ ID・パスワードの連絡 ▷ ご利用開始

お支払い方法

■ **クレジットカード**
取り扱いカード:JCB、MASTER、UFJ、VISA、NICOS、AMEX
※メールにてのご案内となります。
※お客様にはメールの案内に従ってお支払いをしていただきます。

■ **コンビニエンスストア**
利用可能なコンビニ:セブンイレブン、サークルKサンクス、ローソン、ファミリーマート、セイコーマート
※メールにてのご案内となります。

■ **銀行振込(ネットバンク以外)**
※振込手数料はお客様のご負担になります。
※お支払いにつきましてはお申し込み確認後、メールにてご案内を差し上げます。

■ **ネットバンク**
ご利用可能なネットバンク:ジャパンネット銀行、イーバンク銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJダイレクト
※メールにてのご案内となります。
※振込手数料はお客様のご負担になります。

料金

年会費プランⅡ(SDカードダイレクト方式)

初年度　入会金 **2,100**円(税込) + 年会費 **5,250**円(税込)　合計 **7,350**円(税込)

2年目以降　年会費 **5,250**円(税込)　　2契約目以降　年会費 **5,250**円(税込)

※ご登録レーダー探知機は、一契約につき一台の登録となります。

ity. クラブ年会費プランⅡ申込み問い合わせ
株式会社ユピテル ity. クラブ窓口
受付時間 10:00～18:00月曜日～金曜日
(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

TEL.054-283-5792
e-mail:ity@yupiteru.co.jp
ity.クラブホームページアドレス
http://www.yupiteru.co.jp/ityclub/index.html

パソコンでダウンロードする場合

準備する

●インターネットが利用できる環境のパソコン
下記以外のOSについての動作は保証されません。
【対応OS】
• Microsoft Windows 2000
• Microsoft Windows XP
• Microsoft Windows Vista
※64bit版は除きます。

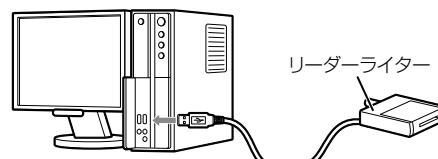
●市販のSDカード/miniSDカード/microSDカードのいずれかのメモリーカード(以降SDカード)で、容量が2GB以下のもの
• miniSDカードか、microSDカード使用の場合は、SDカード変換アダプターが必要となります。

●市販のSDカードリーダーライター
• 使用するSDカードの容量に対応したリーダーライターをご用意ください。
• SDメモリーカードスロットを備えたパソコンの場合は必要ありません。
(使用するSDカードの容量に対応している場合)

パソコンとSDカードを接続する

① SDカードリーダーライターをパソコンに接続する。
• SDメモリーカードスロットを備えたパソコンの場合は、SDカードリーダーライターを接続する必要はありません。

② SDカードをSDカードリーダーライターに接続する。
• miniSDカードかmicroSDカード使用の場合は、SDカード変換アダプターに取り付けた後、パソコンかSDカードリーダーライターに接続してください。

ダウンロードする

① ity. クラブの専用サイト(http://www.yupiteru-ity.com/pc/)にアクセスする。
② ID・パスワードを入力する。
• ID・パスワードは ity.クラブ入会後に連絡されます。
③ ログインを選択する。
④ 登録機種を確認。
• 登録機種がご使用のレーダー探知機と異なる場合は、お手数ですが ity.クラブ窓口(☛ 60ページ)までご連絡ください。
⑤ 更新データ(オービスデータやコンテンツデータ)を選択し、ダウンロードする。
• 更新データは、複数同時にダウンロードできません。それぞれ1回ごとに選択し、ダウンロードしてください。
⑥ 更新データをSDカードに保存する。
• ダウンロードしたオービスデータやコンテンツデータを、個別に保存する必要はありません。

FOMAでダウンロードする場合

準備する

●FOMAで受信メールをminiSDカード/microSDカードに保存できる機種。
最新対応機種や詳細については、下記URLにアクセスして確認できます。
http://www.yupiteru.co.jp/ity2

- FOMAは、NTT DoCoMoの携帯電話です。

●市販のminiSDカード/microSDカードのいずれかのメモリーカードで、容量が2GB以下のもの。(SDカード変換アダプターが必要となります。)

ダウンロードする

① FOMAにminiSDカード/microSDカードを取り付ける。

- 詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご参照ください。

② miniSDカード/microSDカードをフォーマット(初期化)する。

- フォーマットのしかたは、携帯電話により異なります。携帯電話の取扱説明書の【外部メモリーをフォーマットする】などをご参照ください。
- フォーマットは必ずご利用になる携帯電話で行ってください。
- パソコンなど他機器でフォーマットしたminiSDカード/microSDカードは正常に使用できない場合があります。
- フォーマットを行うと、miniSDカード/microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

③ インターネットでホームページ
http://www.yupiteru-ity.com/
に接続する。
「スーパーキャットGPSデータ・ダウンロード」の画面が表示されます。

※[http://]は自動的に挿入されます。
※このホームページ・アドレスを登録しておくと、次回から簡単な操作でホームページを表示できます。

- 接続のしかたは、携帯電話により異なります。携帯電話の取扱説明書の【Internet】などをご参照ください。
- バーコードリーダー機能付きの携帯電話の場合、上のQRコードを読み取ると、ホームページを表示できます。
携帯電話の取扱説明書の【バーコードリーダー】などをご参照ください。

④ [ログインする]を選択する。

⑤ ユーザーID、パスワードを入力し、[ログイン]を選択する。

- 必ず半角数字で入力してください。
※ID・パスワードは ity.クラブ入会後に連絡されます。

⑥ [データ・ダウンロード]を選択する。

⑦ 登録機種を確認する。

- 登録機種がご使用のレーダー探知機と異なる場合は、お手数ですが ity.クラブ窓口(☛ 60ページ)までご連絡ください。

⑧ 更新データ(オービスデータやコンテンツデータ)を選択し、ダウンロードする。

- 更新データは、複数同時にダウンロードできません。オービスデータを選択、ダウンロードしレーダー探知機にてデータ更新後、コンテンツデータを選択、ダウンロードしてください。

⑨「メールを送信しました」と表示後、しばらくすると、携帯電話がメールを受信します。

- ity.クラブに登録していないメールアドレスには、メールは届きません。
- ドメイン指定受信(迷惑メール対応)されているかたは、メールが届かないことがあります。指定受信「its21.co.jp」を追加してください。

<メールが3分割の場合>
・題名　1/23　datasend
　　　　00011080_1
・題名　1/23　datasend
　　　　00011080_2
・題名　1/23　datasend
　　　　00011080_3

※更新データの容量によって、分割されるメールの数が違います。

⑩ 受信メールをminiSDカード/microSDカードにコピーする。(エクスポート)

<メールが3分割の場合>
・題名　1/23　datasend
　　　　00011080_1
・題名　1/23　datasend
　　　　00011080_2
・題名　1/23　datasend
　　　　00011080_3

を、miniSDカード/microSDカードに1件ずつコピーしてください。

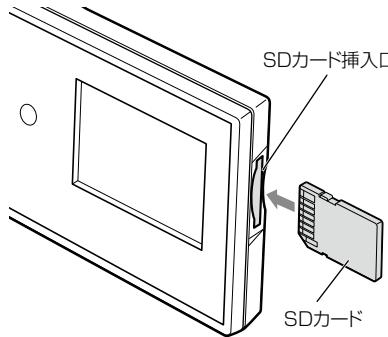
- コピーのしかたは、携帯電話により異なります。携帯電話の取扱説明書の【外部メモリーにコピーする】などをご参照ください。
- 受信メールは、必ず全数コピーしてください。また一括コピーすると、レーダーのデータ更新ができません。
- 「オービスデータ」、「コンテンツデータ」の複数のデータは個別にコピーし、個別にレーダーのデータ更新を行ってください。

携帯電話の通信料はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

レーダー探知機のGPSデータを更新する

① レーダー探知機の電源を入れる。

② レーダー探知機にSDカードを接続し、データ更新する。

- SDカードの端子を手前左側に向け、『カチッ』と音がするまで差し込んでください。
- 更新データを保存したSDカードをレーダー探知機に接続すると、『ピポッ』と音が鳴り、液晶表示が更新画面に変わり、データ更新を開始します。
  データ更新が終了すると、『転送が終了しました』と音声が出ます。
- miniSDカードかmicroSDカード使用の場合は、SDカード変換アダプターに取り付けた後、レーダー探知機に接続してください。

③ 更新終了後にSDカードを取り外す。

- 指で軽く押し込み、指を離すとSDカードが少し出てきますので、ゆっくりと引き抜いてください。
- SDカードは、必ず取り外してご使用ください。
- SDカードの接続や取り外しは、無理に差し込んだり引き抜かないでください。
- データ更新中は、絶対にSDカードを抜かないでください。
- SDカードを接続したままの状態や、半分挿入した状態でご使用にならないでください。
- SDカードを取り外したあとは、各SDカードの説明書の指示に従って大切に保管してください。

お預かり更新サービス(送料別・税込￥5,250)をご要望される場合は、最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

機能／特徴

● **今すぐ地図表示サービス**(☛ 66ページ)

レーダー探知機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付き携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図や観光・レジャー・グルメ・ホテル・温泉などのエンターテイメント情報を表示します。また、周辺の駐車場も一覧表示。「e燃費」「ぐるなび」にもリンク！

- 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- バーコードリーダー機能付き携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
- 一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

● **地図閲覧サービス**(☛ 67～69ページ)

携帯電話やパソコンで専用サイトにアクセスし、緯度・経度や郵便番号、住所を入力すると、周辺の地図や観光・レジャー・グルメ・ホテル・温泉などのエンターテイメント情報を表示します。また、周辺の駐車場も一覧表示。「e燃費」「ぐるなび」にもリンク！

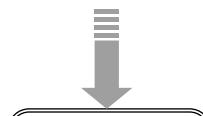
- 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
- 一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

● **ログ機能**(☛ 70ページ)

レーダー探知機本体に記録した走行データをSDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を表示させることができます。

今すぐ地図表示サービス

❶ リモコンのファンクションボタンを長押し(約1秒)してQRコードを表示させる。

❷ バーコードリーダー機能付き携帯電話でQRコードを読み取り送信する。

㈱昭文社提供地図配信サービスにより送信先にメールで地図配信用URLが送信されます。
相手方は受信メールのURLをクリックすると地図が配信されます。

地図閲覧サービス

㈱昭文社提供地図配信サービスにより送信先にメールで地図配信用URLが送信されます。
相手方は受信メールのURLをクリックすると地図が配信されます。

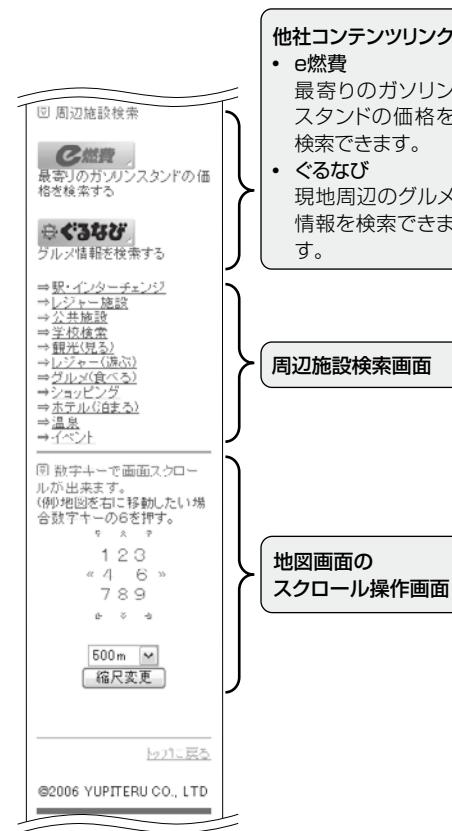
地図閲覧サービス

PC専用サイト	http://www.yupiteru-itymap.com/pc/

表示画面

●緯度経度入力検索
地図表示したい場所の緯度と経度を入力して 表示 ボタンをクリックします。
(入力例)139°5′19.2秒の場合
1390519.2と入力する。

●住所／郵便番号検索

●駐車場表示
周辺の駐車場マークを表示/非表示できます。

●他社コンテンツリンク
●e燃費
最寄りのガソリンスタンドの価格を検索できます。
●ぐるなび
現在地周辺のグルメ情報を検索できます。

●ユピテル新製品紹介バナー
クリックすると、ユピテルホームページの製品専用コーナーに移ります。

●「ここにいます!!」mail
表示地図を送り先の携帯電話やパソコンにメールで送ることができます。

●季節特集
年間を通じて季節にあわせた特集を企画し、それぞれのシーズン前に新鮮な情報を提供します。

<特集内容>
●春……花見名所
●夏……海水浴／キャンプ場／花火大会
●秋……紅葉名所／秋の味覚狩り
●冬……イルミネーション／初詣

●周辺施設検索
1. 周辺範囲(1km/3km/5km)を選択して検索項目をクリックします。
2. 検索施設を選択すると施設のマークが表示されます。

<施設内容>
●駅･インターチェンジ
●レジャー施設
寺社/スタジアム/競馬場等
●公共施設
官公署等
●学校
●観光(見る)
文化施設/史跡等
●レジャー(遊ぶ)
アミューズメント/遊園地/キャンプ場等
●グルメ(食べる)
レストラン/食堂/ラーメン屋/ソバ屋等
●ホテル(泊まる)
ホテル/旅館/民宿等
●温泉
日帰り入浴温泉
●イベント
カーニバル/祭り/催し物会場等

<ロードサイドデータ>
●ロードサイド郊外店
ファミリーレストラン／ファーストフード／コンビニ/スーパー/ホームセンター/ドラッグストア 等

ログ機能［特許出願中］

ログ機能をONに設定すると、走行データ(最大約12時間分)を本体に記録します。
記録したデータは、SDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます
パソコンで走行軌跡を確認するには以下の環境や条件が必要になります。

※下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販のデータロガーでの動作確認は行っておりません。
※走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。

① 下記の条件を満たしたインターネットに接続可能なパソコン。

- OS： Windows 2000 Professional、
  Windows XP Professional、
  Windows XP HomeEdition、
  Windows Vista
  ※64bit版を除く
- NET Framework2.0以上がインストールされていること。NET Framework2.0がインストールされていない場合は、Microsoft社のホームページよりダウンロードしてください。

② ご用意いただくもの。

- 市販のSDカード/miniSDカード/microSDカードのいずれかのメモリーカード(以降SDカード)で、容量が2GB以下のもの(miniSDカードか、microSDカード使用の場合は、SDカード変換アダプターが必要となります)。
- 市販のSDカードリーダーライター。
  ※SDメモリーカードスロットを備えたパソコンの場合は、必要ありません。
  ※使用するSDカードの容量に対応していることをご確認ください。
- GoogleよりGoogle Earthをダウンロードしてください。
- 弊社ホームページ(http://www.yupiteru.co.jp)をご参照の上、オリジナルログデータ変換ソフト(YP_LogDataConvert.exe)をダウンロードしてください。

1. ログ機能をONにする

ログ機能をONに設定(☛ 58ページ)すると走行データが記録されます。

- 非測位時、時速10km未満の場合は記録されません。
- 走行データは、待受画面のアイコン表示部にパーセント表示されます。

- 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。
- 記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。
- ログ機能ON中は常に走行データを記録します。日時別の保存や管理は行なっておりません。
- 記録容量が100%になり、ログ機能がOFFになっても、データ消去(☛ 58ページ)を行なうまで、100%の表示は残ります。
- 走行記録を消去する場合は、データ消去(☛ 58ページ)を行なってください。また必要に応じ、事前に下記の手順でSDカードにコピーを行なってください。

2. 走行データをSDカードにコピーする

本機のSDカード挿入口にSDカードを挿入すると、自動的に記録している走行データがコピーされます。

- SDカードへコピーを行なった後も、走行データを記憶しています。走行データを消去する場合は、設定メニューより、ログデータの消去(全消去)を行なってださい。(☛ 58ページ)
- SDカードにダウンロード用データが保存されている場合、走行データのコピーは行なわれません。

3. パソコンで走行軌跡を確認する

① 走行データをコピーしたSDカードをパソコンに接続します。
② YP_LogDataConvert.exe(ユピテル ログデータコンバート)を起動させます。
パソコン画面上の「開く」ボタンをクリックし、SDカードの走行データ(＊.Log)を選択します。
③「変換」ボタンをクリックし、お好みのファイル名と保存先を指定し、保存します。
④ 保存したファイルを開くと、Google Earthの画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて３つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

- 現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流であると思われます。

2. 距離と時間で算出する方法(ループコイル式・LHシステム)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。
測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

- この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、検知できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。

3. 追走して測定する方法(追尾方式)

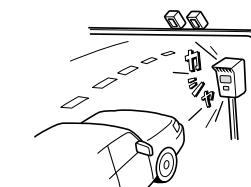
指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

- 本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信します。

取締りレーダー波について

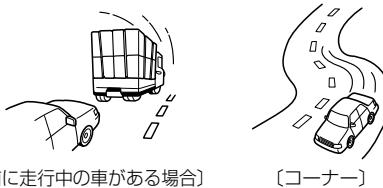
取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式
人が測定装置を道路際に設置して行います。
取締りレーダー波は、直進性が強いため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。

自動速度取締り機(新Hシステム、レーダー式オービス)
速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。

移動式
測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

● 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。

〔前に走行中の車がある場合〕

〔コーナー〕

〔下り坂〕

● 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輌通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

仕 様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧　：DC 12 V(マイナスアース車専用)
消費電流　：待機時：130mA以下
　　　　　　(UHF/VHF部　OFF時)
　　　　　　最大：310mA以下
受信方式　：[GPS部]
　　　　　　16チャンネル/パラレル受信方式
　　　　　　[レーダー部]
　　　　　　スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
表示部　　：IPS液晶ディスプレイ
受信周波数：[GPS部] 1.6GHz帯
　　　　　　[レーダー部] Xバンド/Kバンド
　　　　　　[UHF部] 336～470MHz帯
　　　　　　[VHF部] 154～163MHz帯

動作温度範囲：－20℃～＋85℃
　　　　　　(GPS部：－20℃～＋80℃)
　　　　　　(UHF/VHF部：－10℃～＋60℃)
[本体]
　外形寸法：305(W)×82(H)×18(D)mm
　重量　　：374g
[リモコン]
　外形寸法：34(W)×70(H)×16(D)mm
　重量　　：19g(電池含む)

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、Ⓡ マークは明記していません。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう１度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症　状	チェック項目
電源が入らない	• 電源スイッチがONになっていますか。 • シガープラグコードがはずれていませんか。 • シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良を起こしていませんか。シガープラグを2、3回左右にひねりながら差し込み直してください。 • シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
エンジンを止めて、イグニッションキーを抜いても電源が切れない	• シガーライターソケットの電源が、エンジンの始動／停止と連動して入／切しない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、シガープラグの電源スイッチで電源を切ってください。
反応しない レーダー警報しない	• 電源が入っていましたか。液晶表示を確認してください。 • 警報機能が正しく働きますか。テスト＆ミュートボタンを押して確認してください。 • 取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。 • 取締りが「レーダー方式」で行われていませんか。 • マイキャンセル登録したエリアではありませんでしたか。 • インテリジェントキャンセルされていませんか。キャンセル中は液晶で表示します。 • AACシステムがONで、時速30km以下のときは警報しません。 • 「マナーモード」になっていませんか。⏶アップボタンを押して解除してください。
GPS警報しない	• GPS測位していましたか。 • 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。
取締りもしていないのに警報機能が働く	• 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。 ――取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器―― • 電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車輌通過計測機／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー、航空レーダーの一部／他のレーダー探知機の一部 • まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなる	• レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。
ひんぱんに無線警報する	• 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
取締り現場なのに 350.1MHzを受信しない	• 「取締無線」を「ON」に設定していましたか。 • 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。
Nシステム告知しない	• 「Nシステム」の設定は「ON」になっていましたか。 • GPS測位していましたか。 • 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、告知されません。
誤警報がキャンセルされない	• 「Ｉキャンセル」の設定は「ON」になっていましたか。 • GPS測位していましたか。 • 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 • 取締りエリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。
リモコンで操作できない	• リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。 • リモコンの赤外線が遮られていませんか。 • 本体の赤外線受光部に太陽光が直接入射していると、操作距離が短くなることがあります。
何も表示しない	• 「マナーモード」になっていませんか。⏶アップボタンを押して解除してください。 • 「ワンタッチミラー機能」が働いていませんか。ファンクションボタンを押して解除してください。

アフターサービスについて

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から１年間です。

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

※修理期間中における貸し出し用レーダー探知機は、ご用意できませんので、あらかじめご了承ください。

○保証期間中のとき

保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●GPSデータの更新について

本機には、あらかじめ速度取締り機(オービス）やNシステムなどのGPS データが登録されています。最新データへの更新をご要望される場合、ity.ダウンロード機能(☛ 59ページ)をご覧ください。
また、お預かり更新サービス(送料別・税込¥5,250)をご要望される場合、最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間　10：00～18：00　月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター　　TEL. (0564)45-5599

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間　9：00～17：30　月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地　区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部　TEL. (011)618-7071 〒060-0008　北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部　TEL. (022)284-2501 〒984-0015　宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部　TEL. (03)3769-2525 〒108-0023　東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部　TEL. (052)769-1601 〒465-0092　愛知県名古屋市名東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部　TEL. (06)6386-2555 〒564-0051　大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部　TEL. (082)230-1711 〒731-0135　広島県広島市安佐南区長束1丁目34-22-102
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部　TEL. (092)552-5351 〒815-0035　福岡県福岡市南区向野2-3-4-2F

● 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
● 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。